

科目No	212306000
ナンバリングコード	N1DA0601
科目名	動物形態学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	1
担当教員	山本 昌美 岸本 拓也 播谷 亮 吉村 久志

授業のねらい	動物形態学では動物の体を構成する組織や器官の形態、位置および構成細胞について、さらに構造と機能との関係についても理解することを目的とする。系統的に、家畜と伴侶動物の運動器系、循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿生殖器系、内分泌器系、神経系および感覚器系について講義する。
到達目標	1.家畜と伴侶動物の体を構成する臓器・器官について、その形態と構成組織を説明できる 2.各種組織を構成する細胞の構造とその機能を説明できる 3.動物看護師に必要な形態学的基礎知識を習得する
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	動物機能学などで学ぶ臓器の機能についての基礎知識
履修上の留意点	特になし
授業期間を通して出される課題	特になし
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	毎回のテーマについて配付したプリントを読み返す、関連項目について図書館などで調べる（予習100分、復習100分）
テキスト、参考文献他	「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書1巻」（EDUWARD Press 購入は必須ではない） 「ビジュアルで学ぶ伴侶動物解剖生理学」（緑書房、購入は必須ではない） 図書館やe-bookなどで関連する参考資料を検索して欲しい。ネット情報は間違いがあることもあるので注意すること。
授業形態	対面講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	80	定期試験期間内に実施
	レポート試験	10	授業内で小テストなどあれば必ず受験し、レポートの指示があれば提出すること
	平常点評価	10	遅刻の有無などの授業態度、配信資料のダウンロード状況などを総合的に評価する
	評価のフィードバック方法	学修支援システムによって個別に通知する	

再試験		成績評価後に判断する			
ループリック		4	3	2	1
成績評価基準 (ループリック)	家畜と伴侶動物の体を構成する臓器・器官についての理解	臓器の形態と構成組織を詳細に説明できる	臓器の形態と構成組織をひととおり理解している	臓器の形態と構成組織の一部を理解している	知識が乏しく、理解できていない
	各種組織を構成する細胞の構造とその機能の理解	各種組織を構成する細胞の構造とその機能も含めて詳細に説明できる	各種組織を構成する細胞の構造については理解している	各種組織を構成する細胞の構造の一部は理解している	知識が乏しく、理解できていない
	動物看護師に必要な形態学的基础知識の習得	臨床に必要な肉眼的、組織学的基础知識はすべて理解できている	臨床で特に重要な知識は習得できている	臨床に必要な知識の一部は理解している	知識の習得ができていない

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/11(金)	2 時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル 授業内容	動物形態学の基礎 動物形態学の基礎 (1)細胞の構造と機能(2)組織の構造と機能(3)器官の構成(4)発生学			
2.	2025/04/18(金)	2 時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル 授業内容	呼吸器系 呼吸器系の構造と機能 (1)気道(2)呼吸部(3)胸郭と胸膜(4)鳥類の呼吸器系			
3.	2025/04/25(金)	2 時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル 授業内容	消化器系 [ 1 ] 消化器系の構造と機能 [ 1 ] (1)口腔(2)歯(3)唾液腺(3)咽頭(4)食道			
4.	2025/05/09(金)	2 時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル 授業内容	消化器系 [ 2 ] 消化器系の構造と機能 [ 2 ] (1)胃 (単胃、複胃) (2)小腸 (十二指腸、空腸、回腸) (3)大腸 (盲腸、結腸、直腸) (4)肛門			
5.	2025/05/16(金)	2 時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル 授業内容	消化器系 [ 3 ] 消化器系の構造と機能 [ 3 ] (1)肝臓(2)胆嚢(3)膵臓(4)鳥類の消化器系			
6.	2025/05/23(金)	2 時限	吉村 久志	B511	講義
	タイトル 授業内容	生殖器系 生殖器系の構造と機能 (1)雄性生殖器系(2)雌性生殖器系(3)鳥類の生殖器系			
7.	2025/05/30(金)	2 時限	吉村 久志	B511	講義
	タイトル 授業内容	内分泌器官 内分泌器官の構造とホルモン (1)視床下部・下垂体系(2)松果体(3)甲状腺(4)上皮小体(5)膵島(6)副腎(7)消化管ホルモン			
8.	2025/06/06(金)	2 時限	吉村 久志	B511	講義
	タイトル 授業内容	外皮系、感覚器系 感覚器系の構造と機能 (1)外皮系(2)眼球と付属器(3)耳と付属器(4)受容器と伝導路			
9.	2025/06/13(金)	2 時限	吉村 久志	B511	講義
	タイトル 授業内容	体の支持と運動 [ 1 ] 体の支持と運動 (運動器系) [ 1 ] (1)各種骨格の構成(2)骨の構造と発生(3)軟骨(4)関節の構造と分類			
	2025/06/20( )			B511	

	金	2 時限	吉村 久志		講義
10.	タイトル	体の支持と運動 [2] と小テスト 体の支持と運動 (運動器系) [2]			
	授業内容	(1)筋肉の分類、構造と機能(2)体各部位の筋群(3)鳥類の運動器系 運動器系の小テスト			
	2025/06/27(金)	2 時限	播谷 亮	B511	講義
11.	タイトル	泌尿器系 泌尿器系の構造と機能			
	授業内容	(1)腎臓(2)ネフロン(3)糸球体傍装置(4)集合管(5)膀胱などの尿路系			
	2025/07/04(金)	2 時限	播谷 亮	B511	講義
12.	タイトル	造血器系、免疫系			
	授業内容	(1)血液(2)造血器官(3)リンパ性器官(4)免疫に関わる細胞			
	2025/07/11(金)	2 時限	岸本 拓也	B511	講義
13.	タイトル	循環器系 循環器系の構造と機能			
	授業内容	(1)体循環と小循環(2)血管(3)リンパ管系(4)心臓(5)刺激伝導系			
	2025/07/18(金)	2 時限	岸本 拓也	B511	講義
14.	タイトル	神経系 神経系の構造と機能			
	授業内容	(1)神経組織(2)中枢神経系 (大脳、脳幹、小脳、脊髄) (3)末梢神経系 (動物性神経、 植物性神経、脳神経)			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No 212310000  
 ナンバリングコード N1DA1001  
 科目名 野生動物学I  
 学科 獣医保健看護学科  
 科目区分 必修  
 授業区分 講義  
 単位数 2  
 学年 1  
 担当教員 山本 俊昭  
 梶本 樹

授業のねらい "野生動物学は複数の学問領域にまたがった応用的学問である。生態学だけでなく、形態学、繁殖学、遺伝学、生理学などを総合的に学ぶことによって動物の生態特性を理解する。さらには、具体的な保護・管理を行う上での具体的な方法を挙げながら、日本の野生動物に関する課題について考える機会とする。"

- 到達目標
1. 日本に生息する野生動物の生態特性を説明できる
  2. 絶滅のメカニズムと対策について説明できる
  3. 野生動物の保護・管理を行うための方法を説明できる。

事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能 高校・生物の十分な理解を確認してから履修に臨むこと。

履修上の留意点 -

授業期間を通して出される課題 -

授業外学修の具体的な指示、時間の目安 予習（100分）、復習（100分）

テキスト、参考文献他 はじめて学ぶ哺乳類（文一総合出版）、哺乳類の生物学（東京大学出版）

授業形態 おもにスライドを使用した講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	70	論述試験を実施する
	レポート試験	0	実施しない
	平常点評価	30	出席態度と疑応答等積極的な参加を総合的に評価する。
	評価のフィードバック方法		ポータルを用いて個別に伝える。
	再試験		必要に応じて実施する。

	ルーブリック	4	3	2	1
	理解度	授業内容を越えた自主的な学修が認められる	授業内容をほぼ100%理解している	到達目標は理解しているが、授業内容に不足がある	到達目標に達していることが認められる

成績評価基準（ルーブリック）	課題解法能力	解法が分からない何も参照せずに独 他人にアドバイス自の能力で課題を ができる 解くことができる	参考書などを参考 にすれば、自分で 課題を解くことが できる	他人のアドバイス があれば課題を解 くことができる
	調査能力（予習）	自ら進んで予習範 囲を十分に指示した予習範囲 困を越えて調べて理解し、他人に説 ける 明できる	指示された範囲は 予習するが、理解 な点がある	予習するが、理解 が不十分である

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/16(水)	2時限	山本 俊昭	B511	講義
	タイトル 授業内容	野生動物の分類学 生物の分類方法について学ぶとともに、動物の種類や系統進化について学ぶ。			
2.	2025/04/23(水)	2時限	山本 俊昭	B511	講義
	タイトル 授業内容	野生動物の生態・行動：大型動物 日本に生息する大型野生動物6種を対象に行動、生態および生息環境などについて学ぶ。			
3.	2025/04/30(水)	2時限	畠本 樹	B511	講義
	タイトル 授業内容	野生動物の生態・行動：中型・小型動物 日本に生息する中・小型哺乳類（食肉目や齧歯目など）の行動や生態について学ぶ。			
4.	2025/05/07(水)	2時限	畠本 樹	B511	講義
	タイトル 授業内容	野生動物の繁殖 野生動物の繁殖戦略や繁殖生理について学び、それらと生息環境や社会構造との関係について理解を深める。			
5.	2025/05/14(水)	2時限	山本 俊昭	B511	講義
	タイトル 授業内容	野生動物の個体群生態学 野生動物の保護管理をおこなう野生動物の個体数推定の方法、生命表を用いた個体群の増減およびその要因について学ぶ。			
6.	2025/05/21(水)	2時限	畠本 樹	B511	講義
	タイトル 授業内容	野生動物の管理学 野生動物の鳥獣被害発生状況および対策について学ぶ。また、特定鳥獣保護管理計画に関する制度について学び、順応的管理の考え方について理解する。			
7.	2025/05/28(水)	2時限	山本 俊昭	B511	講義
	タイトル 授業内容	野生動物の法学 野生動物にかかわる国際的条約および日本国内の野生動物に関連する法律について学ぶ。また、日本における政策および国家戦略について理解する。			
8.	2025/06/04(水)	2時限	畠本 樹	B511	講義
	タイトル 授業内容	外来種問題 近年深刻化するアライグマやクリハラリスといった具体的な外来種問題に触れ、外来生物への知識を深めるとともにその対策の重要性を学ぶ。			
9.	2025/06/11(水)	2時限	畠本 樹	B511	講義
	タイトル 授業内容	野生動物の救護 日本の野生動物救護の現状を把握するとともに、生物多様性保全や環境モニタリングといった救護の意義について学ぶ。また、感染症の防疫といった救護のリスクや課題についても同時に学ぶ。			
10.	2025/06/18(水)	2時限	畠本 樹	B511	講義
	タイトル 授業内容	希少種の保全 絶滅危惧種の主な絶滅要因について学び、その回復手法である生息域外保全について理解する。また、動物園における希少種の繁殖といった生息域外保全についても同時に学ぶ。			
11.	2025/06/25(水)	2時限	畠本 樹	B511	講義
	タイトル 授業内容	野生動物の疾病と保全医学 人間社会と深い関わりがある野生動物由来の人獣共通感染症やその発生原因、対策等について保全医学的な視点から学ぶ。			
	2025/07/02(水)	2時限	山本 俊昭 畠本 樹	B511	講義

12.	タイトル 動物園学① 授業内容 野生動物保全に関わる動物園の役割と機能について学ぶ。	山本 俊昭 鳶本 樹	B511	講義
	2025/07/09(水) 2 時限			
13.	タイトル 動物園学② 授業内容 野生動物保全に関わる動物園の役割と機能について学ぶ。	山本 俊昭 鳶本 樹	B511	講義
	2025/07/16(水) 2 時限			
14.	タイトル 動物園学③ 授業内容 野生動物保全に関わる動物園の役割と機能について学ぶ。			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212312000
ナンバリングコード	N1DA1201
科目名	動物遺伝学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	1
担当教員	近江 俊徳 宇田川 智野

授業のねらい	動物遺伝学は、各種動物を対象に、表現型として認識可能な生物の特性である形質および形質が親から子あるいはそれ以後の子孫（世代）に伝わる「遺伝」について学習する学問領域である。ここでは、遺伝情報の伝達、法則、遺伝的多様性の生成・維持機構、遺伝子解析手法、遺伝病の発現様式など遺伝学の基礎と応用を学習する。																		
到達目標	1. DNAおよび染色体の構造、遺伝情報の伝達のしくみ（メカニズム）について説明できる。 2. 様々な遺伝様式（遺伝の法則）、遺伝的多様性、単一遺伝、多因子遺伝について説明できる。 3. 遺伝子疾患や発生異常、などの遺伝的素因を理解し説明できる。																		
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	1年生前期に動物生化学（必修）を履修しておくこと。																		
履修上の留意点	特になし																		
授業期間を通して出される課題	講義内で適宜演習や小テストを行うことがある																		
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	内容の理解を深めるため教科書および次回の講義で取扱う資料を事前に読むこと（100分）復習として、毎回のテーマについてまとめておく（100分）																		
テキスト、参考文献他	教科書：図説基礎動物遺伝育種学 朝倉書店（2024年9月1日発行）、参考図書 基礎動物看護学1（動物形態機能学 動物繁殖学）日本動物保健看護系大学協会 カリキュラム委員会（編集）EDUWARD Press、配布プリント、スライドを使用して講義を行う。																		
授業形態	配布プリント、スライド、教科書等を使用して講義を行う。																		
成績評価基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>評価割合(%)</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期試験</td> <td>70</td> <td>点数による評価</td> </tr> <tr> <td>レポート試験</td> <td>20</td> <td>各講義で課すレポート課題（確認テスト等）を評価する</td> </tr> <tr> <td>平常点評価</td> <td>10</td> <td>授業への参加状況、講義資料の閲覧状況等を総合的に判断する</td> </tr> <tr> <td>評価のフィードバック方法</td> <td colspan="2">学期末に希望者へ開示</td> </tr> <tr> <td>再試験</td> <td colspan="2">成績不良者に対し、総合評価成績に応じて実施する。</td> </tr> </tbody> </table>	種別	評価割合(%)	評価方法	定期試験	70	点数による評価	レポート試験	20	各講義で課すレポート課題（確認テスト等）を評価する	平常点評価	10	授業への参加状況、講義資料の閲覧状況等を総合的に判断する	評価のフィードバック方法	学期末に希望者へ開示		再試験	成績不良者に対し、総合評価成績に応じて実施する。	
種別	評価割合(%)	評価方法																	
定期試験	70	点数による評価																	
レポート試験	20	各講義で課すレポート課題（確認テスト等）を評価する																	
平常点評価	10	授業への参加状況、講義資料の閲覧状況等を総合的に判断する																	
評価のフィードバック方法	学期末に希望者へ開示																		
再試験	成績不良者に対し、総合評価成績に応じて実施する。																		

成績評価基準 (ルーブリック)	ルーブリック	4	3	2	1
	知識・理解	授業に関する知識について十分な理解を得ていると判断される。	授業に関する知識についておおよそ理解を得ていると判断される。	授業に関する知識についてある程度理解を得ていると判断される。	授業に関する知識について理解が不十分であると判断される。
	定期試験	授業における重要なポイントについて十分に理解がなされている。	授業における重要なポイントについておおよそ理解がなされている。	授業における重要なポイントについてある程度理解がなされている。	授業における重要なポイントについて一部の理解がなされている。

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/09/19(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	オリエンテーション・序論			
	授業内容	基礎遺伝学の歴史、遺伝のメカニズム			
2.	2025/09/26(金)	2 時限	宇田川 智野	B511	講義
	タイトル	遺伝様式の基礎 I			
	授業内容	メンデル遺伝学とその拡張			
3.	2025/10/03(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	遺伝様式の基礎 II			
	授業内容	ゲノムと染色体の構造、減数分裂と配偶子の形成、遺伝子間の連鎖と組換え			
4.	2025/10/10(金)	2 時限	宇田川 智野	B511	講義
	タイトル	遺伝様式の基礎 III			
	授業内容	DNAの複製、遺伝子の転写と翻訳、DNA損傷と突然変異、遺伝子と染色体の突然変異			
5.	2025/10/17(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	質的形質の遺伝			
	授業内容	愛玩動物や質的形質、産業動物の生産形質の遺伝的特徴、動物の毛色の遺伝			
6.	2025/10/24(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	遺伝的改良の基礎と集団遺伝学			
	授業内容	量的形質と統計学の基礎 (選抜育種、交配様式、交雑育種) ハーディ・ワインベルク平衡とその影響因子			
7.	2025/11/07(金)	2 時限	宇田川 智野	B511	講義
	タイトル	分子遺伝学の基礎と応用			
	授業内容	多型マーカー、家系解析、DNA個体識別			
8.	2025/11/14(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	動物の遺伝的多様性			
	授業内容	遺伝形質の発現、遺伝学を利用した遺伝的改良量の向上、ゲノムの多様性、ミトコンドリアの多様性			
9.	2025/11/21(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	血液型の遺伝学			
	授業内容	動物の血液型と遺伝の関係、免疫遺伝学			
10.	2025/11/28(金)	2 時限	宇田川 智野	B511	講義
	タイトル	個体識別と遺伝学			
	授業内容	DNA型と血縁登録・親子識別、個体識別			
11.	2025/12/12(金)	2 時限	近江 俊徳	B511	講義
	タイトル	動物の遺伝性疾患や発生異常			
	授業内容	遺伝病の概要および単一遺伝子病を引き起こす遺伝子変異とその例。数の遺伝子変異と環境要因により発症する多因子遺伝子病の例			
12.	2025/12/19(金)	2 時限	宇田川 智野	B511	講義
	タイトル	組換えDNA技術と遺伝子工学、遺伝子解析で考慮する規則と倫理			
	授業内容	現代に使用されている組換えDNA技術 遺伝子工学的手法 遺伝子工学を用いた品種改良			
	2025/12/26(金)	2 時限	宇田川 智野	B511	講義
	タイトル	最新犬の遺伝学研究			

- |     |   |
|-----|---|
| 13. | <b>授業内容</b> 犬の基礎遺伝学<br>最新の海外文献から犬の遺伝学の研究論文を紹介及びグループワーク<br>2026/01/09(金) 2時限 近江 俊徳 B511 講義 |
| 14. | <b>タイトル</b> 最新猫の遺伝学研究<br><b>授業内容</b> 猫の基礎遺伝学<br>最新の海外文献から猫の遺伝学の研究論文を紹介                    |

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212314000
ナンバリングコード	N1DA1401
科目名	動物行動学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	1
担当教員	水越 美奈 秋山 蘭

授業のねらい	問題を未然に防ぎ、社会に迷惑をかけずに動物と楽しく暮らすには適切なしつけが必要となる。この講義では動物の種としての行動様式の特徴を学び、家庭で飼育するために必要なしつけと動物の行動の基本的な仕組みを理解することを目的とする。																		
到達目標	1. 動物の基本的な行動様式について理解する 2. 犬と猫の飼育に必要な基本的な知識について理解する 3. 犬と猫のボディランゲージについて理解する 4. 基本的な学習理論について理解する																		
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	テーマに関連する教科書以外の書籍などに目を通すようにすると望ましい																		
履修上の留意点	授業毎に行うポータルによる小テストを期限内に必ず提出すること ポータルによるお知らせ等を見逃さないよう注意すること																		
授業期間を通して出される課題	1. 授業をまとめた自筆のノート作成 2. 毎回、ポータルによる小テストを実施する																		
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	予習：教科書を読み、わからないところを整理する（100分） 復習：講義ノートを作成／整理し、授業内容の把握する。小テストに解答し、提出する（100分）																		
テキスト、参考文献他	授業ごとにポータルにて資料を提示、配信する。 テキスト：「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書第6巻 動物行動学・愛玩動物学・比較動物学」日本動物保健看護学系大学協会編 エデュワードプレス																		
授業形態	教室内での講義で実施する。 資料は事前にポータルで配信する。授業に出席し、小テストを提出。																		
成績評価基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>評価割合(%)</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期試験</td> <td>80</td> <td>選択式および記述式</td> </tr> <tr> <td>レポート試験</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平常点評価</td> <td>20</td> <td>授業態度と積極性、小テスト点数および提出期限遵守を評価する</td> </tr> <tr> <td>評価のフィードバック方法</td> <td colspan="2">必要である場合は評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する</td> </tr> <tr> <td>再試験</td> <td colspan="2">基本的には実施しない 期末試験後に判断する</td> </tr> </tbody> </table>	種別	評価割合(%)	評価方法	定期試験	80	選択式および記述式	レポート試験	0		平常点評価	20	授業態度と積極性、小テスト点数および提出期限遵守を評価する	評価のフィードバック方法	必要である場合は評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する		再試験	基本的には実施しない 期末試験後に判断する	
種別	評価割合(%)	評価方法																	
定期試験	80	選択式および記述式																	
レポート試験	0																		
平常点評価	20	授業態度と積極性、小テスト点数および提出期限遵守を評価する																	
評価のフィードバック方法	必要である場合は評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する																		
再試験	基本的には実施しない 期末試験後に判断する																		

成績評価基準 (ループリック)	ループリック	4	3	2	1
	授業内容に関する理解		授業内容に関して十分に理解し、説明できる	授業内容に関して概ね説明できる	授業内容に関して概ね理解し、簡単な説明であればできる
小テスト提出		毎回授業に出席し、小テストを全て提出する	理由ありの欠席(欠席届提出)はあったが、小テストは全て提出している	理由ありの欠席(欠席届提出)はあり、小テストが提出されていない回がある	理由なく欠席した回があり、かつ小テストが提出されていない

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/09/22(月)	2時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	動物行動学の基礎①			
	授業内容	動物行動研究の4分野、行動の進化と適応、家畜化、脳による行動制御について理解する			
2.	2025/09/29(月)	2時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	動物行動学の基礎②			
	授業内容	動物の社会構造と維持行動、生殖行動、母性行動など生得的な行動について理解する			
3.	2025/10/06(月)	2時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	犬と猫の行動発達			
	授業内容	犬と猫の発達ステージ(胎生期・新生子期・移行期・社会化期・若年期・成熟期・高齢期)と各時期の行動学的特徴について理解する			
4.	2025/10/20(月)	2時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	犬のコミュニケーション行動①			
	授業内容	1. 視覚・聴覚・嗅覚・触覚を使ったコミュニケーション行動を理解する 2. 特に犬が発達しているボディランゲージについての基本を理解する			
5.	2025/10/27(月)	2時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	犬のコミュニケーション行動②			
	授業内容	不安やストレス下に見せるボディランゲージ、攻撃(攻勢的および恐怖による)時に見せるボディランゲージについて理解する			
6.	2025/10/30(木)	2時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	猫のコミュニケーション行動			
	授業内容	1. 視覚・聴覚・嗅覚・触覚を使ったコミュニケーション行動を理解する 2. ボディランゲージと猫に特徴的な嗅覚によるコミュニケーションを理解する			
7.	2025/11/10(月)	2時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	犬の飼育と環境①			
	授業内容	犬の習性からみた飼育に必要な環境を理解する			
8.	2025/11/17(月)	2時限	水越 美奈	E111	講義
	タイトル	犬の飼育と環境②			
	授業内容	犬に必要な環境を理解し、その上で人と暮らすときに必要な社会化(馴化)やしつけについて理解する			
9.	2025/12/01(月)	2時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	猫の飼育と環境			
	授業内容	猫の飼育に必要な環境とそのエンリッチメントについて説明する			
10.	2025/12/08(月)	2時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	古典的条件づけ			
	授業内容	古典的条件づけについて理解する			
11.	2025/12/15(月)	2時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	オペラント条件づけ			
	授業内容	オペラント条件づけについて理解する			
12.	2025/12/22(月)	2時限	水越 美奈	B511	講義
	タイトル	動機づけなど学習に影響を与える因子とその他の学習方法について			
	授業内容	古典的条件づけとオペラント条件づけ以外の学習の方法と、学習に影響を与える因子について説明する			

	2026/01/07(水) 2 時限	水越 美奈	B511	講義
13.	タイトル	オペラント条件づけを利用した実際のトレーニング方法		
	授業内容	実際のトレーニング方法について学習理論を用いて説明できるようになる		
	2026/01/19(月) 2 時限	秋山 蘭	B511	講義
14.	タイトル	動物看護師が知っておくべき動物病院における行動学		
	授業内容	動物病院内で役立つ行動学や動物看護師が行う飼い主指導について理解する		

その他

※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。  
 ※本科目を担当する教員は、本学動物医療センターの獣医師等であり、実務経験をもとに授業を行う。

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	212318000
ナンバリングコード	N1DA1701
科目名	動物病理学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	1
担当教員	山本 昌美 岸本 拓也 播谷 亮 吉村 久志

授業のねらい	動物病理学では動物形態学、動物機能学で習得した知識をもとに、疾病の成り立ちと体に生じる病的変化について学習する。生体の正常範囲を超えた変動の表現である各種疾病の原因、発症のしくみ、進展の様相、経過、転帰について、諸臓器、組織、細胞に生じる形態的、機能的変化を理解することを目的とする。												
到達目標	1. 病的変化について、その特徴を発生機序と経過、形態的变化について理解できる。 2. 病理学実習までに必要な基礎的知識を習得する。												
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	動物形態学および動物機能学で学んだ、臓器の機能および組織や細胞の構造についての基礎知識が必要である。												
履修上の留意点	特になし												
授業期間を通して出される課題	講義時に小テストや配布プリントの穴埋め問題をおこなう場合がある												
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	毎回のテーマについてプリントを読み返す、自分なりにまとめてみる、関連項目について図書館などで調べる（予習100分、復習100分）。												
テキスト、参考文献他	項目ごとに資料を配布する。 参考書 「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書2巻 動物病理学/動物薬理学」(EDUWARD Press、購入は必須ではないが国家試験受験までに購入が望ましい) 「動物病理学総論 第4版」(文栄堂、購入は必須ではない)												
授業形態	対面あるいは遠隔講義（授業形態は変更になる場合があります）												
成績評価基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>評価割合(%)</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期試験</td> <td>80</td> <td>定期試験期間内に実施</td> </tr> <tr> <td>レポート試験</td> <td>10</td> <td>授業内で小テストなどあれば必ず受験し、レポートの指示があるものは提出すること（小テストやレポートを課さない場合もある）</td> </tr> <tr> <td>平常点評価</td> <td>10</td> <td>遅刻の有無などの授業態度、配信資料のダウンロード状況などを総合的に評価する</td> </tr> </tbody> </table>	種別	評価割合(%)	評価方法	定期試験	80	定期試験期間内に実施	レポート試験	10	授業内で小テストなどあれば必ず受験し、レポートの指示があるものは提出すること（小テストやレポートを課さない場合もある）	平常点評価	10	遅刻の有無などの授業態度、配信資料のダウンロード状況などを総合的に評価する
種別	評価割合(%)	評価方法											
定期試験	80	定期試験期間内に実施											
レポート試験	10	授業内で小テストなどあれば必ず受験し、レポートの指示があるものは提出すること（小テストやレポートを課さない場合もある）											
平常点評価	10	遅刻の有無などの授業態度、配信資料のダウンロード状況などを総合的に評価する											

評価のフィードバック方法 学修支援システムによって個別に通知する  
再試験 定期試験後に判断する

	ループリック	4	3	2	1
成績評価基準 (ループリック)	病理学的専門用語の知識	病理学的専門用語を理解し詳細に説明できる	基本的な専門用語は理解している	病理学的専門用語の一部は理解している	病理学的専門用語の知識が乏しい
	病理学的形態変化についての理解	その特徴を発生機序と経過、形態的变化について理解できている	各病理学的変化の特徴を理解できる	正常組織との違いは理解できる	正常組織との違いが理解できない
	病気の原因とメカニズムを理解する	病気の原因やメカニズムについて深い理解を持ち、関連する用語や概念を正確に説明できる	病気の原因やメカニズムを理解しており、十分な説明ができる	病気の原因やメカニズムの一部を理解しているが、詳細な説明はできない	基礎的な病気の原因やメカニズムを正しく説明できない

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/09/24(水)	2 時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	序論および病態論、病理組織学的検査 疾病は生体の正常範囲の変動を超えた変化で、病態病理学ではこの変化を形態学・機能学的に学ぶ。			
	授業内容	さまざまな病因とそれに対する生体反応と疾病の機序、ホメオスタシスを含めた生体の回復力について知り疾病のなりたちについて理解する。また病理組織学的検査の意義と手順について理解する。			
2.	2025/10/01(水)	2 時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	細胞および組織の傷害と死1 組織や細胞はさまざまな物質代謝を営み動的平衡状態を保っているが、この障害が代謝障害である。			
	授業内容	このうちの変性や物質沈着について学ぶ。受動的細胞死の壊死と、能動的細胞死のアポトーシスについて理解する。			
3.	2025/10/08(水)	2 時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	細胞および組織の傷害と死2 組織や細胞はさまざまな物質代謝を営み動的平衡状態を保っているが、この障害が代謝障害である。			
	授業内容	このうちの変性や物質沈着について学ぶ。受動的細胞死の壊死と、能動的細胞死のアポトーシスについて理解する。			
4.	2025/10/15(水)	2 時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	細胞の適応・増殖・分化異常 萎縮について、また受動的細胞死の壊死と、能動的細胞死のアポトーシスについて理解する。			
	授業内容	生体の病的刺激に対する萎縮などの退行性変化、肥大・過形成など積極的な適応と、損傷といった障害組織とその治癒・修復について理解する。			
5.	2025/10/29(水)	2 時限	山本 昌美	B511	講義
	タイトル	循環障害 循環器系は血液循環系とリンパ（組織液を含む）循環系よりなり、この障害が循環障害である。			
	授業内容	血液とリンパ（組織液）の循環障害によりおこる病態と、脱水・ショックからおこる病態について学ぶ。			
6.	2025/11/05(水)	2 時限	播谷 亮	B511	講義
	タイトル	生体防御機構とアレルギー 免疫は生体防御機構の重要な担い手である。その成り立ちと反応について理解する。			
	授業内容	一方で、免疫は生体にとって不利益な反応をも生じる。その現象として生じるアレルギー反応・免疫異常などについて理解する。			
	2025/11/12( )			B511	

	水	2時限	播谷 亮		講義
7.	タイトル	炎症総論			
	授業内容	生体に加わる刺激に対する反応で、局所防御反応である炎症について理解する。			
	2025/11/19(水)	2時限	播谷 亮	B511	講義
8.	タイトル	炎症各論			
	授業内容	炎症の形態的特徴による分類と、それぞれの特徴と代表的疾患について理解する。			
	2025/11/26(水)	2時限	吉村 久志	B511	講義
9.	タイトル	腫瘍総論			
	授業内容	腫瘍とは生体に由来する細胞が自律的に過剰に増殖した状態である。腫瘍の定義・分類と特徴を理解し、腫瘍の原因と発癌機序、進行と生体への影響について学ぶ。			
	2025/12/03(水)	2時限	吉村 久志	B511	講義
10.	タイトル	腫瘍各論			
	授業内容	動物に発生する代表的な腫瘍について学ぶ。			
	2025/12/10(水)	2時限	山本 昌美	B511	講義
11.	タイトル	先天異常と奇形			
	授業内容	先天異常とは出生時にみられる機能的異常であり、そのうち肉眼的に認識できる形態異常を奇形という。 遺伝子・染色体の異常などの原因と、胎子が受ける障害について理解する。			
	2025/12/17(水)	2時限	岸本 拓也	B511	講義
12.	タイトル	犬猫、愛玩鳥の代表的な疾患 1			
	授業内容	循環器系、呼吸器系、消化器系の病気			
	2025/12/24(水)	2時限	岸本 拓也	B511	講義
13.	タイトル	犬猫、愛玩鳥の代表的な疾患 2			
	授業内容	泌尿器系、生殖器系、神経系の病気			
	2026/01/14(水)	2時限	岸本 拓也	B511	講義
14.	タイトル	犬猫、愛玩鳥の代表的な疾患 3			
	授業内容	感覚器系、内分泌系、運動器系、外皮系の病気			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。  
 ※本科目を担当する教員は、獣医病理学に関する専門家資格を有しており、病理検査の実務経験をもとに授業を行う。

科目No	212323000
ナンバリングコード	N2DA2301
科目名	動物臨床検査学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	石岡 克己

**授業のねらい** 本講義では、検体検査（血液検査、生化学検査、尿検査、細胞診検査など）および生体検査（心電図、各種画像検査など）の原理、目的、方法について学ぶ。

- 到達目標**
1. 各検体検査の原理、目的、方法を理解する。
  2. 各生体検査の原理、目的、方法を理解する。
  3. 検体検査結果に基づき、患者動物の状態を正確にアセスメントできる。

**事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能** 「動物形態学」「動物機能学」「動物生化学」「動物病理学」で学んだことを復習しつつ講義に臨むこと。

**履修上の留意点** テキストや参考文献を利用し、予習・復習を実施すること。

**授業期間を通して出される課題**

-

**授業外学修の具体的な指示、時間の目安** ポータル配信資料、参考文献などで次回の講義内容について予習する（100分）  
授業内容の理解を深めるため配信した資料で復習を行い、関連資料をまとめる（100分）  
など

**テキスト、参考文献他** テキスト：ポータルで配信するスライド資料  
参考文献：愛玩動物看護師準拠教科書シリーズ第7巻（EDUWARD Press）  
犬と猫の臨床検査マスターブック（EDUWARD Press）

**授業形態** 教室における講義。

成績評価基準	種別	評価割合(%)	評価方法			
	定期試験	100	筆記試験を実施する。			
レポート試験	0					
平常点評価	0					
評価のフィードバック方法	試験評価を基本とする。					
再試験	状況に応じ、実施を検討する。					
成績評価基準（ルーブリック）	ルーブリック	4	3	2	1	
	理解度	授業内容を越えた自主的な学修が認められる	授業内容をほぼ100%理解している	到達目標は理解しているが、授業内いることが認められる	到達目標に達していません	

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/15(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	臨床検査学総論			
	授業内容	臨床検査における動物看護師の役割について学ぶ。 検体採取法、各種採血管、血漿と血清の分離法について学ぶ。			
2.	2025/04/22(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	完全血球計算 (Complete Blood Count; CBC)			
	授業内容	塗抹標本の作製法と観察法、自動血球計数器の使用法、ヘマ管を使った検査について学ぶ。			
3.	2025/05/02(金)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	赤血球(RBC)の評価法			
	授業内容	赤血球の観察法、貧血の機序と分類、異常赤血球などについて学ぶ。			
4.	2025/05/13(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	白血球(WBC)の評価法			
	授業内容	白血球の観察法、中毒性変化、異常白血球などについて学ぶ。			
5.	2025/05/20(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	血小板・凝固検査			
	授業内容	血小板の観察、凝固時間の測定とDICの評価、術前検査を目的とした止血異常の検査について学ぶ。			
6.	2025/05/27(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	血液型・輸血検査			
	授業内容	動物の輸血医療の現状と血液型検査、クロスマッチ試験について学ぶ。			
7.	2025/06/03(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	生化学検査概論			
	授業内容	生化学検査 (血液化学検査) の基準値、感度と特異度、血漿蛋白、炎症マーカーについて学ぶ。			
8.	2025/06/10(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	肝胆道系・膵臓の検査			
	授業内容	肝疾患および膵疾患の指標となる項目について学ぶ。			
9.	2025/06/17(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	代謝系・腎臓の検査			
	授業内容	血中脂質、代謝系疾患および腎疾患の検査法について学ぶ			
10.	2025/06/24(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	尿検査			
	授業内容	尿検査の実施法、物理・化学的性状、尿沈渣の形態的評価法について学ぶ			
11.	2025/07/01(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	消化器の検査			
	授業内容	糞便検査、内視鏡検査、その他消化器疾患に関連する検査項目について学ぶ 臨床現場で行われる細胞診、病理組織検査、遺伝子検査について学ぶ			
12.	2025/07/08(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	X線検査			
	授業内容	X線検査の目的、原理、実施法および放射線防護について学ぶ			
13.	2025/07/15(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	心電図検査			
	授業内容	心電図検査の目的、原理、実施法について学ぶ			
14.	2025/07/22(火)	1 時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル	超音波検査・CT/MRI・その他の検査			
	授業内容	超音波検査、CT/MRI、神経学的検査、皮膚検査、眼科検査について学ぶ			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分の授業外学修時間が必要である。  
※本科目を担当する教員は、本学動物医療センターの獣医師等であり、実務経験をもとに授業を行う。

科目No	212324000
ナンバリングコード	N2DA2401
科目名	動物栄養学概論
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	石岡 克己 森 昭博

授業のねらい	栄養に役立つ化学成分を栄養素という。栄養素はタンパク質、脂質、炭水化物、無機物およびビタミン（五大栄養素）に大別される。本科目は、動物に必要な各栄養素やエネルギーの役割、利用と代謝、栄養計算、ペットフードの概要について解説する。
到達目標	炭水化物、脂質、タンパク質（アミノ酸）の消化吸収、生体内移動および代謝経路を説明できる。ビタミンおよびミネラルの機能、欠乏症、過剰症を説明できる。ライフステージの違いによる要求の違いを説明できる。肥満状態の違いを説明できる。
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	-
履修上の留意点	-
授業期間を通して出される課題	-
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	授業内容の事前配布による予習（100分）および授業内容の確認のための復習時間（100分）
テキスト、参考文献他	動物栄養学 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻
授業形態	授業での講義

成績評価基準	種別	評価割合(%)		評価方法	
	定期試験	100		担当教員ごとに試験を実施する。3回のテストで平均点が60点以上で合格とする。	
レポート試験	0				
平常点評価	0		出席が2/3に足りていないと試験を受験できない		
評価のフィードバック方法	再試験		評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する。再試験は実施しない。		
成績評価基準（ループ	ループリック 森の1回目の試験 森の2回目の試験	4	3	2	1
		8割以上の理解 7割程度の理解 6割程度の理解 6割未満の理解			

リック)

験  
石岡先生の試  
験

8割以上の理解 7割程度の理解 6割程度の理解 6割未満の理解

8割以上の理解 7割程度の理解 6割程度の理解 6割未満の理解

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/15(火)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル 授業内容	動物看護師が知っておくべきペットフードの基礎知識 ペットフードラベルや犬や猫の栄養要求についてこれまでの基礎的な講義を復習をしながら説明をします。			
2.	2025/04/22(火)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル 授業内容	3大栄養素 炭水化物 3大栄養素と炭水化物代謝について説明する。			
3.	2025/05/02(金)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル 授業内容	3大栄養素 タンパク質、脂質 蛋白質、脂質代謝について説明する			
4.	2025/05/13(火)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル 授業内容	ビタミン ビタミンについて説明する。ビタミンの不足と過剰症について。			
5.	2025/05/20(火)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル 授業内容	ミネラル、中毒、食べさせてはいけないもの ミネラルと中毒および食べさせてはいけないものについて説明する。ミネラルの不足と過剰症について			
6.	2025/05/27(火)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル 授業内容	復習テスト① 1-5回目までの復習テストを行う。問題は選択式でマークシートを用いて行う。			
7.	2025/06/03(火)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル 授業内容	90分で理解、腸内細菌入門と獣医療への応用 腸内細菌叢、糞便のマイクロバイオームについての基礎知識について説明する			
8.	2025/06/10(火)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル 授業内容	エネルギー計算① ペットフードラベルに記載されている代謝エネルギーの計算法について学習する。総合栄養食について説明する。AAFCO、NRCの栄養基準について。療法食について説明する。			
9.	2025/06/17(火)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル 授業内容	エネルギー計算② 犬と猫が一日に必要なとするエネルギー要求量 (RER、MERなど) の計算法を学習する。肥満や消瘦の症例での計算法も学習する。ボディコンディションスコアについて説明する。			
10.	2025/06/24(火)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル 授業内容	復習テスト② 7-9回目までの復習テストを行う。問題は計算問題が主で記述式とする。			
11.	2025/07/01(火)	2時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル 授業内容	ライフステージと栄養1 哺乳期、成長期の栄養管理について学習する。			
12.	2025/07/08(火)	2時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル 授業内容	ライフステージと栄養2 妊娠期、授乳期、高齢期の栄養管理について学習する。			
13.	2025/07/15(火)	2時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル 授業内容	肥満と栄養指導 肥満の原因と病態、治療について学習する。BCS、体脂肪測定など。			
14.	2025/07/22(火)	2時限	石岡 克己	B315	講義
	タイトル 授業内容	動物の食性と比較生理学、復習テスト③ 草食動物、肉食動物、雑食動物の違いについて学習する。11-14回目までの復習テストを行う。			

その他

※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

※本科目を担当する教員は、本学動物医療センターの獣医師等であり、実務経験をもとに授業を行う。

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	212328000
ナンバリングコード	N2DA2801
科目名	動物薬理学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	藤澤 正彦 浅井 史敏

授業のねらい	動物の疾病の治療や診断に用いる薬が作用する過程を理解するために、対象疾患の病態、代表的な治療薬の薬理作用、機序、臨床応用および副作用を学ぶ。また、薬物の体内動態、代謝、排泄に関する基礎知識を、動物種差を含めて修得する。
到達目標	動物医療に用いられる薬の作用やその使用法等についてクライアント（飼い主）に対して、薬の適切かつ安全な使用を説明できるようになる。また、麻酔薬など院内で使用する薬について使用理由が説明できるようになる。
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	薬理学の理解を深めるためには、機能学、生化学、病態学、免疫学の知識も重要である。1年生で学んだ授業や2年生で並行して実施されている講義の内容と薬理学との関連について考えてほしい。
履修上の留意点	講義前に学修支援システムに配信する講義資料を事前に学習してから講義に参加すること。
授業期間を通して出される課題	講義中に出席を兼ねた小テストを実施する
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	授業前に教科書や講義資料を中心に30分、講義後はその復習に30分、学修時間が必要である。
テキスト、参考文献他	"教科書：基礎動物看護学 2 動物病理学、動物薬理学（EDUWARD Press） 参考図書：獣医薬理学＜第2版＞（近代出版）"
授業形態	対面授業形式を基本として時にはオンデマンドによる講義動画を配信する。

	種別	評価割合(%)	評価方法		
成績評価基準	定期試験	80	学期末に定期試験を実施する（評価結果は学修支援システムより通知する）		
	レポート試験	20	学期の中間に中間試験（筆記試験）を実施する（評価結果は学修支援システムなどより通知する）		
	平常点評価	0	授業中に小テストを実施した場合は評価に加えることもある。		
	評価のフィードバック方法		オフィスアワーからの問い合わせに対し、個別にフィードバックする予定である。		
	再試験		実施する		
	ルーブリック	4	3	2	1

成績評価基準 (ルーブリック)

知識・理解

到達目標にほぼ到達している。  
8割程度、到達目標に到達している。  
6割程度、到達目標に到達している。  
到達目標への到達度が6割未満である。

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/14(月)	2時限	浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	動物看護師における薬の利用			
	授業内容	動物看護師に求められる薬理学について概説する			
2.	2025/04/21(月)	2時限	浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	薬理作用と薬物動態			
	授業内容	薬理作用と薬物動態 (吸収、分布、代謝、排泄) を中心に講義する			
3.	2025/04/28(月)	2時限	浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	医薬品の有害作用			
	授業内容	薬の主作用と副作用、薬害、副作用の要因について講義する。			
4.	2025/05/12(月)	2時限	浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	医薬品の開発			
	授業内容	医薬品の分類、開発、情報について講義する			
5.	2025/05/19(月)	2時限	浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	抗炎症薬			
	授業内容	非ステロイド系、ステロイド系抗炎症薬について講義する			
6.	2025/05/26(月)	2時限	浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	神経系に作用する薬			
	授業内容	全身・局所麻酔薬、鎮静薬・鎮痛薬・抗けいれん薬を中心に講義する			
7.	2025/06/02(月)	2時限	浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	循環器および腎臓に作用する薬			
	授業内容	心不全治療薬、血管拡張薬・抗不整脈薬、利尿薬を中心に講義する			
8.	2025/06/09(月)	2時限	浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	血液に作用する薬			
	授業内容	止血・血栓のメカニズム、貧血について講義する			
9.	2025/06/16(月)	2時限	浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	呼吸器に作用する薬			
	授業内容	呼吸器に作用する薬物について講義する			
10.	2025/06/23(月)	2時限	浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	代謝・内分泌系の薬			
	授業内容	糖尿病治療や甲状腺ホルモン製剤を中心に講義する			
11.	2025/06/30(月)	2時限	藤澤 正彦 浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	消化器に作用する薬			
	授業内容	消化器に作用する薬物について講義する			
12.	2025/07/07(月)	2時限	浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	感染症の治療、予防に用いられる薬			
	授業内容	抗菌薬、抗真菌薬を中心に講義する			
13.	2025/07/14(月)	2時限	浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	抗腫瘍薬			
	授業内容	抗腫瘍薬について講義する			
14.	2025/07/23(水)	2時限	浅井 史敏	B315	講義
	タイトル	動物薬理学のまとめ			
	授業内容	今までの講義内容の復習とまとめを行う。			

その他

※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。  
出欠の確認は毎回実施する。出席が3分の2に達しないものは定期試験を受けることはできない。



科目No	212330000
ナンバリングコード	N2DA3001
科目名	動物微生物学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	青木 博史 塩川 舞

授業のねらい	愛玩動物、産業動物、実験動物及び野生動物等の陸生動物（鳥類を含む）の病原微生物とそれによる感染症の特徴を学ぶとともに、愛玩動物看護をはじめとする獣医保健看護領域に欠かせない衛生管理、病原微生物検査及び予防法などの知識・理論を学び、習得することを目的とする。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 陸生動物の微生物（ウイルス、細菌及び真菌）の分類、形態、生物学的特徴、感染と発症を説明できる。</li> <li>2. 病原微生物の病原性、増殖と培養、各種検査法または診断法について説明できる。</li> <li>3. 感染症の制御法（消毒と滅菌ほか）、予防法（免疫とワクチン、抗菌薬など）、衛生管理を説明できる。</li> <li>4. 動物の各種微生物感染症の特徴、感染経路と伝播様式、症状と診断、予防法について説明できる。</li> <li>5. 動物の感染症あるいは院内感染症の発生に対して、対処や対策について議論できる。</li> </ol>
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	動物機能学、動物形態学、動物生化学、動物遺伝学、産業動物学、動物病理学で学ぶ、動物の形態機能、生物学および細胞生物学の基礎知識が必要であり、それらを確認しながら履修に臨むこと。
履修上の留意点	愛玩動物看護師法に定める科目の「動物感染症学」のうち、微生物に関わる部分を講義する。動物寄生虫学（必須）と合わせて「動物感染症学」を理解すること。
授業期間を通して出される課題	-
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	講義内容をスムーズに理解するのを助けるため、次回の講義に合致する教科書や参考書の項目を予習しておくこと。事前資料等がポータルに掲示してある講義回では、予めその内容に目を通しておくこと（100分）。 講義内容を理解し習得するため、講義後に、教科書や事前資料等を参考にしながら、毎回の講義テーマについてまとめておくこと。小テスト及びレポートが課されている場合には、期日までに回答すること（100分）。
テキスト、参考文献他	<p>[教科書] 次のいずれでも差し支えない。 ①愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻「動物感染症学」（EDUWARD Press社）、②愛玩動物看護師の教科書第3巻 基礎動物看護学（緑書房）</p> <p>[参考書] 次のいずれも講義に関連する。 ①動物微生物検査学（近代出版）、②動物の感染症第4版（近代出版）</p> <p>[その他]</p>

	講義に用いたスライド等はポータルに掲示する。印刷物として配布はしない。																									
授業形態	講義室内での対面講義。																									
成績評価基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>評価割合(%)</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期試験</td> <td>80</td> <td>期末定期試験期間中に試験（記述）、その評点を総合評価に用いる。</td> </tr> <tr> <td>レポート試験</td> <td>0</td> <td>レポート試験は行わない。</td> </tr> <tr> <td>平常点評価</td> <td>20</td> <td>学習状況（受講状況、ポータル活用、質問等）及び復習用確認テストの利用状況を総合評価に用いる。</td> </tr> <tr> <td>評価のフィードバック方法</td> <td colspan="2">オフィスアワーにおいて問い合わせがあった場合に、個別にフィードバックする。</td> </tr> <tr> <td>再試験</td> <td colspan="2">再試験は実施しない（次年度以降の同定期試験を受験すること）。</td> </tr> </tbody> </table>	種別	評価割合(%)	評価方法	定期試験	80	期末定期試験期間中に試験（記述）、その評点を総合評価に用いる。	レポート試験	0	レポート試験は行わない。	平常点評価	20	学習状況（受講状況、ポータル活用、質問等）及び復習用確認テストの利用状況を総合評価に用いる。	評価のフィードバック方法	オフィスアワーにおいて問い合わせがあった場合に、個別にフィードバックする。		再試験	再試験は実施しない（次年度以降の同定期試験を受験すること）。								
	種別	評価割合(%)	評価方法																							
	定期試験	80	期末定期試験期間中に試験（記述）、その評点を総合評価に用いる。																							
	レポート試験	0	レポート試験は行わない。																							
	平常点評価	20	学習状況（受講状況、ポータル活用、質問等）及び復習用確認テストの利用状況を総合評価に用いる。																							
評価のフィードバック方法	オフィスアワーにおいて問い合わせがあった場合に、個別にフィードバックする。																									
再試験	再試験は実施しない（次年度以降の同定期試験を受験すること）。																									
成績評価基準（ルーブリック）	<table border="1"> <thead> <tr> <th>ルーブリック</th> <th>4</th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>微生物の知識（分類と特徴）</td> <td>プリオン、ウイルス、細菌及び真菌を区別でき、それぞれの形態的及び生物学的な特徴を説明できる。</td> <td>プリオン、ウイルス、細菌及び真菌を区別でき、それぞれの形態的特徴を説明できる。</td> <td>プリオン、ウイルス、細菌及び真菌を区別できる。</td> <td>プリオン、ウイルス、細菌及び真菌を正確又は十分に区別できない。</td> </tr> <tr> <td>動物感染症の知識</td> <td>各種動物の微生物性動物感染症の病原体、宿主、病態、感染経路、治療法、検査法を説明できる。</td> <td>愛玩動物の微生物性動物感染症の病原体、宿主、病態、感染経路、治療法、検査法を説明できる。</td> <td>愛玩動物の微生物性動物感染症の病原体、病態、検査法を説明できる。</td> <td>愛玩動物の微生物性動物感染症の病原体及び病態を十分に説明できない。</td> </tr> <tr> <td>感染予防法の知識</td> <td>各種動物の微生物性動物感染症の予防及び対策の基礎知識を有し、疾病に見合った予防法や対策を他者に適切に伝えることができる。</td> <td>愛玩動物の微生物性動物感染症の予防及び対策の基礎知識を有し、それを見合った予防法や対策を他者に適切に伝えることができる。</td> <td>愛玩動物の微生物性動物感染症の予防及び対策の基礎知識を有し、それを他者に適切に伝えることができる。</td> <td>愛玩動物の微生物性動物感染症の予防及び対策の基礎知識を有する。</td> </tr> <tr> <td>感染管理のための思考力</td> <td>各種動物の微生物性感染症に対し、状況に則した適切な感染管理策を考察することができる。</td> <td>愛玩動物の微生物性感染症に対し、状況に則した適切な感染管理策を考察することができる。</td> <td>愛玩動物の微生物性感染症の感染管理策を説明することができる。</td> <td>愛玩動物の微生物性感染症の感染管理策を十分に説明することができない。</td> </tr> </tbody> </table>	ルーブリック	4	3	2	1	微生物の知識（分類と特徴）	プリオン、ウイルス、細菌及び真菌を区別でき、それぞれの形態的及び生物学的な特徴を説明できる。	プリオン、ウイルス、細菌及び真菌を区別でき、それぞれの形態的特徴を説明できる。	プリオン、ウイルス、細菌及び真菌を区別できる。	プリオン、ウイルス、細菌及び真菌を正確又は十分に区別できない。	動物感染症の知識	各種動物の微生物性動物感染症の病原体、宿主、病態、感染経路、治療法、検査法を説明できる。	愛玩動物の微生物性動物感染症の病原体、宿主、病態、感染経路、治療法、検査法を説明できる。	愛玩動物の微生物性動物感染症の病原体、病態、検査法を説明できる。	愛玩動物の微生物性動物感染症の病原体及び病態を十分に説明できない。	感染予防法の知識	各種動物の微生物性動物感染症の予防及び対策の基礎知識を有し、疾病に見合った予防法や対策を他者に適切に伝えることができる。	愛玩動物の微生物性動物感染症の予防及び対策の基礎知識を有し、それを見合った予防法や対策を他者に適切に伝えることができる。	愛玩動物の微生物性動物感染症の予防及び対策の基礎知識を有し、それを他者に適切に伝えることができる。	愛玩動物の微生物性動物感染症の予防及び対策の基礎知識を有する。	感染管理のための思考力	各種動物の微生物性感染症に対し、状況に則した適切な感染管理策を考察することができる。	愛玩動物の微生物性感染症に対し、状況に則した適切な感染管理策を考察することができる。	愛玩動物の微生物性感染症の感染管理策を説明することができる。	愛玩動物の微生物性感染症の感染管理策を十分に説明することができない。
	ルーブリック	4	3	2	1																					
	微生物の知識（分類と特徴）	プリオン、ウイルス、細菌及び真菌を区別でき、それぞれの形態的及び生物学的な特徴を説明できる。	プリオン、ウイルス、細菌及び真菌を区別でき、それぞれの形態的特徴を説明できる。	プリオン、ウイルス、細菌及び真菌を区別できる。	プリオン、ウイルス、細菌及び真菌を正確又は十分に区別できない。																					
	動物感染症の知識	各種動物の微生物性動物感染症の病原体、宿主、病態、感染経路、治療法、検査法を説明できる。	愛玩動物の微生物性動物感染症の病原体、宿主、病態、感染経路、治療法、検査法を説明できる。	愛玩動物の微生物性動物感染症の病原体、病態、検査法を説明できる。	愛玩動物の微生物性動物感染症の病原体及び病態を十分に説明できない。																					
感染予防法の知識	各種動物の微生物性動物感染症の予防及び対策の基礎知識を有し、疾病に見合った予防法や対策を他者に適切に伝えることができる。	愛玩動物の微生物性動物感染症の予防及び対策の基礎知識を有し、それを見合った予防法や対策を他者に適切に伝えることができる。	愛玩動物の微生物性動物感染症の予防及び対策の基礎知識を有し、それを他者に適切に伝えることができる。	愛玩動物の微生物性動物感染症の予防及び対策の基礎知識を有する。																						
感染管理のための思考力	各種動物の微生物性感染症に対し、状況に則した適切な感染管理策を考察することができる。	愛玩動物の微生物性感染症に対し、状況に則した適切な感染管理策を考察することができる。	愛玩動物の微生物性感染症の感染管理策を説明することができる。	愛玩動物の微生物性感染症の感染管理策を十分に説明することができない。																						

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/11(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	微生物の特徴と感染症（総論）			
	授業内容	微生物（ウイルス、細菌、真菌）の定義と相違、感染と発症、微生物学・免疫学の歴史、感染症論、関連法規について講義する。			
2.	2025/04/18(金)	2時限	塩川 舞	B315	講義
	タイトル	ウイルスの分類と形態			
	授業内容	ウイルス（プリオンを含む）の分類、形態、構造、および機能について講義する。			
3.	2025/04/25(金)	2時限	塩川 舞	B315	講義
	タイトル	ウイルスの増殖と培養、変異			
	授業内容	ウイルスの増殖と変異（様式）、培養方法と観察方法を学び、感染と発症の機構について講義する。			
	2025/05/09(金)	2時限	塩川 舞	B315	講義

4.	タイトル 授業内容	ウイルスの検査法 検体の取り扱い、各種ウイルス検査（分離、抗原検出法、抗体検出法、遺伝子検出法（PCR法ほか）の種類と原理について講義する。			
	2025/05/16(金)	2時限	塩川 舞	B315	講義
5.	タイトル 授業内容	ウイルス感染症各論（家庭動物及び産業動物）① 家庭動物（犬・猫・愛玩鳥）と産業動物（牛・馬・豚・鶏など）の各ウイルス感染症について、分類、症状、感染経路と伝搬様式、治療法、予防法について講義する。			
	2025/05/23(金)	2時限	塩川 舞	B315	講義
6.	タイトル 授業内容	ウイルス感染症各論（家庭動物及び産業動物）② 家庭動物（犬・猫・愛玩鳥）と産業動物（牛・馬・豚・鶏など）の各ウイルス感染症について、分類、症状、感染経路と伝播様式、治療法、予防法について講義する。			
	2025/05/30(金)	2時限	塩川 舞	B315	講義
7.	タイトル 授業内容	ウイルス感染症各論（家庭動物及び産業動物）③ 家庭動物（犬・猫・愛玩鳥）と産業動物（牛・馬・豚・鶏など）の各ウイルス感染症について、分類、症状、感染経路と伝播様式、治療法、予防法について講義する。			
	2025/06/06(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
8.	タイトル 授業内容	細菌及び真菌の分類と形態 細菌（リケッチア及びクラミジアを含む）及び真菌の分類、形態、構造、および一般性状について講義する。			
	2025/06/13(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
9.	タイトル 授業内容	細菌及び真菌の増殖、変異、病原性 細菌及び真菌の増殖と変異、培養方法と観察方法、感染と発症について講義する。			
	2025/06/20(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
10.	タイトル 授業内容	細菌及び真菌の検査法 検体の取扱い、検査環境（無菌操作など）、細菌等染色法と顕微鏡観察、鑑別同定法、遺伝子検出法について講義する。			
	2025/06/27(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
11.	タイトル 授業内容	細菌及び真菌性疾患各論（家庭動物及び産業動物）① 家庭動物（犬・猫・愛玩鳥）と産業動物（牛・馬・豚・鶏など）の細菌・真菌感染症について、分類、症状、感染経路と伝搬様式、治療法、予防法について講義する。			
	2025/07/04(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
12.	タイトル 授業内容	細菌及び真菌性疾患各論（家庭動物及び産業動物）② 家庭動物（犬・猫・愛玩鳥）と産業動物（牛・馬・豚・鶏など）の細菌・真菌感染症について、分類、症状、感染経路と伝搬様式、治療法、予防法について講義する。			
	2025/07/11(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
13.	タイトル 授業内容	感染制御と予防法①（免疫とワクチン、抗菌薬と薬剤耐性） 動物の免疫の基礎（自然免疫と獲得免疫、体液性免疫と細胞性免疫、アレルギー・自己免疫疾患など）と応用（ワクチンの原理、種類、接種プログラム等）、抗菌薬の種類、MICと薬剤感受性試験、適正使用と薬剤耐性問題、について講義する。			
	2025/07/18(金)	2時限	塩川 舞	B315	講義
14.	タイトル 授業内容	感染制御と予防法②（消毒と滅菌、バイオハザード対策、院内感染予防） 消毒と滅菌（定義、理論、種類）、衛生管理と安全対策（バイオハザード・バイオセーフティ等）および院内感染対策について講義する。			

その他 学則のとおり定期試験の受験には2/3以上の出席が必要である。学則に従った欠席届の手続きがあった場合に限り、その理由次第では出席と同等に扱う場合がある。※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212335000
ナンバリングコード	N2DA3501
科目名	動物臨床看護学各論II
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	森 昭博 関 瀬利 宮田 拓馬

授業のねらい	内分泌疾患、口腔内疾患、循環器疾患、栄養代謝性疾患、整形外科疾患、生殖器疾患、救急疾患の病態を理解し、診断、治療、看護管理について学習する。
到達目標	ホルモン分泌機構、および関連疾患時の症状、検査方法、治療法を説明できる。糖・カルシウム代謝を理解し説明できる。循環器疾患、口腔内疾患、整形外科疾患、生殖器疾患、救急疾患の病態、検査法、治療法、看護方法を説明できる
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	特に1年次に学んだ動物形態学等の基礎科目の講義内容を復習しておくこと
履修上の留意点	参考書等を活用しながら、十分な予習・復習によって理解を深めること
授業期間を通して出される課題	講義前半部分の中間試験、ならびに後半部分の定期試験の2回実施する
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	授業内容の事前配布による予習（100分） 授業内容の理解の為に配布したプリント等も活用し、関連資料をまとめる（100分）
テキスト、参考文献他	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書シリーズ第9巻 動物臨床看護学総論、各論（EDUWARD Press） 必要に応じて授業ごとに配布する資料
授業形態	対面授業を基本とする。

	種別	評価割合(%)	評価方法		
成績評価基準	定期試験	90	第8回に実施する中間試験の結果と、別途通知する日時に対面で実施する定期試験の結果から総合的に評価する。		
	レポート試験	0			
	平常点評価	10	授業への参加態度		
	評価のフィードバック方法 再試験	問い合わせに対し、個々にフィードバックする 原則実施しないが、試験後に検討する。			
	ルーブリック	4	3	2	1
	9割以上正解し、 中間試験、定期試験しっかりと理解すほとんど理解する最低限は理解でき理解できていると				

成績評価基準 (ルーブリック)	験	ることが出来てい	ることが出来ている	ている	はいいがたい
	授業への参加態度	積極的にノートを作成し、質問も積極的にしている	講義の配布資料を活用しメモを取りながら授業を受けるなどしていない	ほとんどメモを取っていない	授業中の居眠りも多い

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/09/22(月)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル	内分泌疾患とは、副腎機能低下症、尿崩症、インスリノーマ			
	授業内容	内分泌疾患の基礎、診断のための検査方法、サンプルの取り扱いについて学ぶ、副腎皮質機能低下症における、症状・診断・治療・看護について。尿崩症、インスリノーマは愛玩動物看護師国家試験の範囲なので、オンデマンド動画で確認してもらう。			
2.	2025/09/29(月)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル	副腎機能亢進症			
	授業内容	犬の副腎皮質機能亢進症における、症状・診断・治療・看護について			
3.	2025/10/06(月)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル	甲状腺機能亢進症と甲状腺機能低下症について			
	授業内容	犬や猫の甲状腺機能亢進症と甲状腺機能低下症の症状・診断・治療・看護について			
4.	2025/10/20(月)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル	糖尿病			
	授業内容	犬の糖尿病における、症状・診断・治療・看護について			
5.	2025/10/27(月)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル	糖尿病			
	授業内容	猫の糖尿病、犬と猫の糖尿病性ケトアシドーシスにおける、症状・診断・治療・看護について			
6.	2025/10/30(木)	2時限	担当教員	E111	講義
	タイトル	口腔内疾患1			
	授業内容	歯石症、不正咬合、歯肉炎、口蓋裂、口内炎の各治療と看護について理解する。(担当者：戸田巧) *2コマ連続授業			
7.	2025/10/30(木)	3時限	担当教員	E111	講義
	タイトル	口腔内疾患2			
	授業内容	歯石症、不正咬合、歯肉炎、口蓋裂、口内炎の各治療と看護について理解する。(担当者：戸田巧) *2コマ連続授業			
8.	2025/11/10(月)	2時限	森 昭博	B315	講義
	タイトル	中間試験			
	授業内容	第1回～第5回までの内容に関する試験			
9.	2025/11/17(月)	2時限	関 瀬利	B315	講義
	タイトル	循環器疾患1			
	授業内容	循環器に関する解剖学、生理学、疾患の種類、診察、検査、治療、動物看護について理解する。			
10.	2025/12/01(月)	2時限	関 瀬利	B315	講義
	タイトル	循環器疾患2			
	授業内容	僧帽弁逆流症、心筋症、血栓塞栓症、腹膜横隔膜ヘルニア、心房中隔欠損、心室中隔欠損、卵円孔開存、右大動脈弓遺残症、動脈管開存症、犬糸状虫症について理解する。			
11.	2025/12/08(月)	2時限	宮田 拓馬	B315	講義
	タイトル	生殖器疾患			
	授業内容	潜在精巣、前立腺炎、前立腺肥大、子宮蓄膿症、偽妊娠、難産、膣脱、乳腺炎、犬ブルセラ病、乳腺腫瘍、腫瘍随伴症候群について、検査や治療の手順、治療を受けている動物の看護援助について理解する。化学療法の副作用について理解する。			
	2025/12/15(月)	2時限	宮田 拓馬	B315	講義
	タイトル	整形外科疾患1			

12.	授業内容	骨折、脱臼、膝蓋骨脱臼、関節炎、変形性関節症、前十字靭帯断裂、股異形成、レッグペルテス病、骨肉腫について検査や治療の手順を中心に理解する。 ・近くの学生や班別の学生同士にて、意見交換やグループワークを行う。
	2025/12/22(月) 2時限	宮田 拓馬 B315 講義
	タイトル	整形外科疾患2
13.	授業内容	骨折、脱臼、膝蓋骨脱臼、関節炎、変形性関節症、前十字靭帯断裂、股異形成、レッグペルテス病、骨肉腫について治療を受けている動物の看護援助について理解する。 ・近くの学生や班別の学生同士にて、意見交換やグループワークを行う。
	2026/01/07(水) 2時限	宮田 拓馬 B315 講義
	タイトル	救急疾患
14.	授業内容	交通事故、感電、熱傷、熱中症、中毒、誤飲、ショック、アナフィラキシーについて理解する。

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。  
※本科目を担当する教員は、本学動物医療センターの獣医師等であり、実務経験をもとに授業を行う。

科目No	212336000
ナンバリングコード	N3DA4401
科目名	動物臨床看護学各論III
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	3
担当教員	長谷川 大輔 中村 遊香 百田 豊 余戸 拓也

授業のねらい	犬と猫の疾患のうち、神経障害および眼障害、皮膚障害について病態、診断、治療の概要を俯瞰する。 3つの障害に関して、動物看護への実践・応用のために必要な基礎知識の習得を目的とする。
到達目標	1. 神経疾患の臨床的側面から理解する。 2. 眼疾患について臨床的側面から理解する。 3. 皮膚疾患の臨床的側面から理解する。
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	動物形態学、動物免疫学、動物病理学、動物臨床検査学、動物形態学実習の復習を行うこと。
履修上の留意点	-
授業期間を通して出される課題	-
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	復習として、毎回の実習内容についてまとめておく（100分）。 図書館等を利用して、授業内容の関連事項について自習する（100分）。 皮膚科に関しては、講義後の1週間以内に、学習支援システムのテストを受講すること。
テキスト、参考文献他	②動物臨床検査学および動物臨床栄養学、③動物臨床看護学概論および動物臨床看護学各論（EDWARD PRESS）
授業形態	講義室での講義。

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	60	学期末に定期試験を実施する。 百田が担当する皮膚科において課す。
	レポート試験	10	学習支援システムに皮膚講義の内容に沿ったテストの受講と成績を皮膚科の評価に統合する（含まれる）。
	平常点評価	30	授業態度、発言や質疑応答など積極的な姿勢を評価する。
	評価のフィードバック方法	学習支援システムおよびマーク試験の結果は個別に確認でき	

	再試験	る。さらに学習を希望する場合は個別に対応する。 基本的に実施する。レポートで対応する場合もある。			
成績評価基準 (ループリック)	ループリック	4	3	2	1
	理解度	授業内容を越えた自主的な学修が認められる	授業内容をほぼ100%理解している	到達目標は理解しているが、授業内内容に不足がある	到達目標に達していることが認められる
	課題解法能力	解法が分からない他人にアドバイスを求めることができる	何も参照せずに独自の力で課題を解くことができる	参考書などを参考にすれば、独自で課題を解くことができる	他人のアドバイスがあれば課題を解くことができる
	調査能力 (予習)	自ら進んで予習範囲を越えて調べている	予習範囲を十分に理解し、他人に説明できる	指示した予習範囲にない点がある	指示された範囲は予習するが、理解が不十分である

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/17(木)	2時限	長谷川 大輔	B314	講義
	タイトル	神経学的検査 1			
	授業内容	犬猫における神経学的検査の方法、補助と評価法、記載法について学ぶ			
2.	2025/04/24(木)	2時限	長谷川 大輔	B314	講義
	タイトル	神経学的検査 2			
	授業内容	犬猫における神経学的検査の方法、補助と評価法、記載法について学ぶ			
3.	2025/05/01(木)	2時限	中村 遊香	B314	講義
	タイトル	皮膚科1			
	授業内容	皮膚科の基礎 (皮疹、診断技術など)			
4.	2025/05/08(木)	2時限	中村 遊香	B314	講義
	タイトル	皮膚科 2			
	授業内容	検査			
5.	2025/05/15(木)	2時限	中村 遊香	B314	講義
	タイトル	皮膚科3			
	授業内容	全身療法と局所療法、免疫療法			
6.	2025/05/22(木)	2時限	百田 豊	B314	講義
	タイトル	皮膚科4			
	授業内容	痒い病気：外部寄生虫、細菌、真菌			
7.	2025/05/29(木)	2時限	百田 豊	B314	講義
	タイトル	皮膚科5			
	授業内容	痒い病気：外部寄生虫、細菌、真菌			
8.	2025/06/05(木)	2時限	百田 豊	B314	講義
	タイトル	皮膚科6			
	授業内容	その他の疾患：内分泌疾患、免疫介在性疾患			
9.	2025/06/12(木)	2時限	百田 豊	B314	講義
	タイトル	皮膚科7			
	授業内容	免疫介在性疾患 (続き)、皮膚腫瘍			
10.	2025/06/19(木)	2時限	百田 豊	B314	講義
	タイトル	皮膚科8			
	授業内容	耳科の基礎			
11.	2025/06/26(木)	2時限	余戸 拓也	B314	講義
	タイトル	眼科1			
	授業内容	眼科1			
12.	2025/07/03(木)	2時限	余戸 拓也	B314	講義
	タイトル	眼科2			
	授業内容	眼科2			
13.	2025/07/10(木)	2時限	余戸 拓也	B314	講義
	タイトル	眼科3			
	授業内容	眼科3			
14.	2025/07/17(木)	2時限	百田 豊	B314	講義

タイトル 皮膚科

授業内容 耳科の疾患、治療

その他

※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。  
※本科目を担当する教員は、本学動物医療センターの獣医師等であり、実務経験をもとに授業を行う。

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	212339000
ナンバリングコード	N2DA3801
科目名	臨床動物行動学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	水越 美奈 秋山 蘭 岡田 友里香

授業のねらい	1年次の「動物行動学（動物トレーニング学）」で学んだ基礎知識を踏まえ、飼育動物の困った行動問題を解決するために必要な知識を環境の変容や行動修正法を中心に取り上げる。講義における対象動物は犬・猫とする												
到達目標	1. 問題行動の原因を理解できる 2. 基本的な行動修正法を理解できる 3. 犬と猫でよくみられる問題行動について基本的な知識を習得する												
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	1年次の「動物行動学」を十分に理解していること。 動物行動学で学んだ学習理論についての理解が必須であるので、事前にしっかりと復習する。 テーマに関する教科書以外の書籍などに目を通すようにすると望ましい。												
履修上の留意点	4年次の「臨床動物行動学実習」の受講（選択）条件になるので、受講希望者は必ず履修すること。 授業毎に行う小テストを期限以内に必ず提出すること。ポータルによるお知らせ等を見逃さないように注意すること。												
授業期間を通して出される課題	1. 授業をまとめた自筆のノート作成 2. 毎回、ポータルによる小テストを実施する												
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	予習：教科書を読み、わからないところを整理する（90分） 復習：講義ノートを作成／整理し、授業内容の把握する。各回の小テストに解答する。（100分）												
テキスト、参考文献他	授業ごとに資料を配信 教科書として「愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書第6巻：動物行動学・愛玩動物学・比較動物学」日本動物保健看護系大学協会編 エデュワードプレス 参考書として「犬と猫の問題行動の予防と対応－動物病院ができる上手な飼い主指導－」緑書房												
授業形態	教室内の講義で実施する。 資料は事前にポータルを通して配信する。授業に出席し、小テストを提出する												
成績評価基準	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>評価割合(%)</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期試験</td> <td>80</td> <td>選択式及び記述式で行う</td> </tr> <tr> <td>レポート試験</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平常点評価</td> <td>20</td> <td>小テストの成績および提出期限遵守を評価する</td> </tr> </tbody> </table>	種別	評価割合(%)	評価方法	定期試験	80	選択式及び記述式で行う	レポート試験	0		平常点評価	20	小テストの成績および提出期限遵守を評価する
種別	評価割合(%)	評価方法											
定期試験	80	選択式及び記述式で行う											
レポート試験	0												
平常点評価	20	小テストの成績および提出期限遵守を評価する											

	評価のフィードバック方法	必要である場合は評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する			
	再試験	基本的には実施しない。 期末試験後に判断する。			
成績評価基準 (ルーブリック)	ルーブリック	4	3	2	1
	授業内容に関する理解	授業内容に関して十分に理解し、説明できる	授業内容に関して理解し、概ね説明できる	授業内容に関して概ね理解し、簡単な説明であればできる	授業内容に関する理解が乏しく、説明できない
	小テスト提出	毎回授業に出席し、小テストを全て提出する	理由ありの欠席(欠席届提出)はあるが、小テストは全て提出する	理由ありの欠席(欠席届提出)はあるが、小テストが提出されていない回がある	理由なく欠席した回があり、かつ小テストが提出されていない

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/09/22(月)	1時限	水越 美奈	B315	講義
	タイトル	問題行動とは			
	授業内容	問題行動の定義と因子、臨床動物行動学(行動診療)の獣医療における必要性を説明する			
2.	2025/09/29(月)	1時限	水越 美奈	B315	講義
	タイトル	環境修正法と行動修正法			
	授業内容	行動診療の中で用いる環境修正法と行動修正法について理解する(刺激制御、拮抗条件づけと系統的脱感作、オペラント条件づけの消去、古典的条件づけの消去など)			
3.	2025/10/06(月)	1時限	水越 美奈	B315	講義
	タイトル	行動修正法②			
	授業内容	行動診療の中で用いる行動修正法について理解する(非両立行動分化強化、代替行動分化強化、他行動分化強化、負の罰、正の罰など)			
4.	2025/10/20(月)	1時限	水越 美奈	B315	講義
	タイトル	行動診療で用いるその他の方法			
	授業内容	行動診療で用いるその他の方法(行動修正を目的とした道具、外科的療法、薬物療法、サプリメントなど)について理解する			
5.	2025/10/27(月)	1時限	水越 美奈	B315	講義
	タイトル	問題行動の考え方			
	授業内容	実際に飼い主から相談を受けた時のアドバイスの手順と考え方について学ぶ			
6.	2025/10/30(木)	1時限	水越 美奈	B315	講義
	タイトル	仔犬や仔猫によくある問題			
	授業内容	排泄の失敗や甘噛み、じゃれ噛みなど仔犬や仔猫におこる問題とその対応策について学ぶ			
7.	2025/11/10(月)	1時限	水越 美奈	B315	講義
	タイトル	犬の過剰咆哮			
	授業内容	飼い主からの相談に多い犬の吠えについての問題とその対応策について学ぶ			
8.	2025/11/17(月)	1時限	水越 美奈	B315	講義
	タイトル	犬と猫の攻撃行動			
	授業内容	犬と猫の攻撃行動について、その種類、動機、それらについての対応や治療について学ぶ			
9.	2025/12/01(月)	1時限	水越 美奈	B315	講義
	タイトル	犬と猫の恐怖・不安に起因する問題行動			
	授業内容	犬と猫の恐怖・不安に起因する問題行動とその対応や治療について学ぶ			
10.	2025/12/08(月)	1時限	水越 美奈	B315	講義
	タイトル	猫の排泄に関する問題行動			
	授業内容	猫では最も多いと言われる猫の排泄に関する問題行動(不適切な排泄とマーキング)と対応について学ぶ			
	2025/12/15(月)	1時限	水越 美奈	B315	講義

11.	タイトル 授業内容	犬と猫の高齢性認知機能不全と高齢による行動変化 犬と猫の高齢による行動変化と高齢性認知機能不全について症状、機序、対応策を理解する	2025/12/22(月) 1 時限	秋山 蘭	B315	講義
12.	タイトル 授業内容	犬と猫の食事に関する問題行動とその対応 犬と猫が食事を食べないときの対応や飲水のための工夫について学ぶ	2026/01/07(水) 1 時限	岡田 友里香	B315	講義
13.	タイトル 授業内容	一般診療中にある臨床動物行動学① 動物病院の様々な場面（待合、診察室、入院室等）において動物病院を好きになってもらう工夫について理解する	2026/01/19(月) 1 時限	岡田 友里香	B315	講義
14.	タイトル 授業内容	一般診療中にある臨床動物行動学② 恐怖や攻撃行動が認められる動物が来院した際の対応について理解する				

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。  
※本科目を担当する教員は、本学動物医療センターの獣医師等であり、実務経験をもとに授業を行う。

科目No	212342000
ナンバリングコード	N2DA4101
科目名	動物寄生虫学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	青木 博史 塩川 舞

授業のねらい	真核生物性病害生物の多くを占める「寄生虫」について学ぶ。より多彩な遺伝子を持つことができる真核生物である寄生虫は、複雑な感染戦略（生活環）をとることも多く、動物又は人への感染様式、病態発生、あるいは予防にあたって独特の考え方が求められる。寄生虫は多種存在するが、愛玩動物看護師として知っておくべきものを中心に学習し、感染管理や検査・診断の理論を理解する。さらに、それら知識を平易な言葉で人々に伝え、動物とヒトが健康に暮らせるよう働きかけることを意識して学ぶ。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 愛玩動物看護師として、また日常生活において遭遇しうる寄生虫の生活環を理解する。</li> <li>2. 生活環を柱として、各寄生虫の感染予防法、病態発生機序、および治療法について理解する。</li> <li>3. 上記2について、予備知識を持たない人間が理解できるよう説明できる。</li> </ol>
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	動物微生物学及び公衆衛生学における感染症の概念について復習しておく。
履修上の留意点	愛玩動物看護師法に定める科目の「動物感染症学」のうち、寄生虫学に関わる部分を講義する。動物微生物学（必須）と合わせて「動物感染症学」を理解すること。
授業期間を通して出される課題	講義回によってレポートを課す場合がある。
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	<p>【予習】：次週に講義が予定されている項目について、生活環（ライフサイクル）を確認しておく（70分間）。</p> <p>【復習】：講義で扱った項目について、愛玩動物看護師として、あるいは寄生虫学を学んだ人間として、他者に説明ができるようにシミュレーションを行うこと。説明相手としては自分の高校時代の友人や親戚等の専門家ではない人々を想定し、彼らに納得してもらえるか否かを基準として設定すること（130分間）。</p>
テキスト、参考文献他	<p>【テキスト（必須）】</p> <p>愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書3巻「動物感染症学」（日本動物保健看護系大学協会カリキュラム委員会編・エデュワードプレス）</p> <p>【参考書】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 犬・猫・エキゾチックペットの「寄生虫ビジュアルガイド」（佐伯英治著・インターズー）</li> <li>2. 「図説獣医衛生動物学」（今井壯一他著・講談社サイエンティフィク）</li> <li>3. 「最新 獣医寄生虫学・寄生虫病学」（石井俊雄著・講談社サイエンティフィク）</li> <li>4. 「図説 人体寄生虫学」（吉田幸雄・有園直樹著・南山堂）</li> </ol>

[その他]  
指定教科書内容を元に、不足部分は学修支援システム経由で資料を配付する。印刷物は配布しない。

授業形態 講義室内での対面講義。

種別	評価割合(%)	評価方法
定期試験	80	定期試験期間中に試験（記述）、その評点を総合評価に用いる。
レポート試験	0	レポート試験は行わない。
平常点評価	20	学習状況（受講状況、ポータル活用、質問等）及び復習用確認小テストの利用状況を総合評価に用いる。
評価のフィードバック方法		オフィスアワーにおいて問合せがあった場合に、個別にフィードバックする。採点された答案は開示可能であるが、返却はしない。
再試験		再試験は実施しない（次年度以降の同定期試験を受験すること）。

種別	4	3	2	1
寄生虫の知識（分類と特徴）	各種動物に関わる寄生虫の分類、形態的特徴、生活環を正しく理解し、他者に識別でき、他者に適切に説明することができる。	愛玩動物に関わる寄生虫の分類、形態的特徴、生活環を理解し、他者に説明することができる。	愛玩動物に関わる寄生虫の分類と特徴、生活環を他者に説明することができる。	愛玩動物に関わる寄生虫の分類と生活環を理解している。
動物寄生虫感染症の知識	生活感を柱に、各種動物における感染様式、分布、関連動物種、病態発生機序、治療法について正しく理解し、それらを適切に説明することができる。	生活感を柱に、愛玩動物における感染様式、関連動物種、治療法について正しく理解し、それらを説明することができる。	生活感を柱に、愛玩動物における感染様式、関連動物種について理解し、それらを説明することができる。	生活感を柱に、愛玩動物への感染様式、関連動物種を理解している。
寄生虫の感染予防法の知識	生活感を柱に、各種宿主動物およびヒトにおける感染予防法の知識を有し、複数の予防策を他者に適切に説明することができる。	生活感を柱に、愛玩動物およびヒトにおける感染予防法の知識を有し、それを他者に説明することができる。	生活感を柱に、愛玩動物における感染予防法の知識を有し、それを他者に説明することができる。	愛玩動物における感染予防法の知識を有する。

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/09/30(火)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	寄生虫学総論・原虫類総論・原虫類各論 1			
2.	2025/10/07(火)	2時限	塩川 舞	B315	講義
	タイトル	原虫類各論 2			
3.	2025/10/14(火)	2時限	塩川 舞	B315	講義
	タイトル	原虫類各論 3			
4.	2025/10/21(火)	2時限	塩川 舞	B315	講義
	タイトル	蠕虫類総論・吸虫類総論・吸虫類各論 1			
	授業内容	蠕虫類総論、吸虫類総論、肝蛭、横川吸虫、肝吸虫			

5.	2025/10/28(火) 2時限	塩川 舞	B315	講義
	タイトル	吸虫類各論 2		
	授業内容	壺形吸虫、肺吸虫、浅田棘口吸虫、住血吸虫類		
6.	2025/11/11(火) 2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	条虫類総論・条虫類各論 1		
	授業内容	条虫類総論、犬・猫の条虫類		
7.	2025/11/18(火) 2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	条虫類各論 2		
	授業内容	犬・猫の条虫類、ウマの条虫類、ネズミ・ハムスターの条虫類類、ヒトの条虫類		
8.	2025/11/25(火) 2時限	塩川 舞	B315	講義
	タイトル	線虫類総論・線虫類各論 1		
	授業内容	線虫類総論、回虫類、ぎょう虫類、アニサキス類		
9.	2025/12/02(火) 2時限	塩川 舞	B315	講義
	タイトル	線虫類各論 2		
	授業内容	鉤虫類、糞線虫類、広東住血線虫類、馬の円虫類		
10.	2025/12/09(火) 2時限	塩川 舞	B315	講義
	タイトル	線虫類各論 3		
	授業内容	胃虫、顎口虫類、犬糸状虫、東洋眼虫、鞭虫類、旋毛虫		
11.	2025/12/16(火) 2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	衛生動物類総論・衛生動物類各論 1		
	授業内容	衛生動物類総論・ダニ類総論、ダニ各論 1		
12.	2025/12/23(火) 2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	衛生動物類各論 2		
	授業内容	ダニ類各論 2		
13.	2026/01/13(火) 2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	衛生動物類各論 3		
	授業内容	昆虫類総論、シラミ・ハジラミ類、ノミ類、双翅類		
14.	2026/01/20(火) 2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	寄生虫症の診断と検査		
	授業内容	総論、糞便内寄生虫検査、血液検査、特殊な検査		

その他

学則のとおり定期試験の受験には2/3以上の出席が必要である。学則に従った欠席届の手続きがあった場合に限り、その理由次第では出席と同等に扱う場合がある。

※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212347000
ナンバリングコード	N3DA4801
科目名	動物外科看護学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	3
担当教員	藤田 道郎 関 瀬利 宮田 拓馬

授業のねらい	本講義では、様々な疾患に対する動物看護を実施するために必要な臨床的知識を幅広く学ぶことを目的とする。			
到達目標	1. 外科診療の補助に必要な基礎知識を学び、術前準備から術中補助、術後管理までの流れを系統的に理解し、安全な手術の実施に必要な知識を修得する。 2. 犬と猫の腫瘍性疾患および呼吸器疾患の病態生理を理解し、それによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学ぶ。腫瘍性疾患と呼吸器疾患の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか、評価と介入の方法を修得する。			
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	「動物看護学各論I」および「動物看護学各論II」と併せ、幅広い疾患に対する知識を深める必要がある。			
履修上の留意点	適切な参考書を利用し、十分な予習・復習によって理解を深めること。			
授業期間を通して出される課題	適宜、内容に関する小テストを実施する。			
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	予習として参考文献などで次回の講義内容に関する資料を読む（100分） 授業内容の理解を深めるために配布したプリントを復習し、関連資料をまとめる（100分）など			
テキスト、参考文献他	テキスト：授業ごとにプリントを配布する。 遠隔授業用資料：音声付き動画資料を配信する。 愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書 8巻 9巻 EDUWARD Press			
授業形態	通常は対面授業。音声付き動画資料を使用する。			
成績評価基準	種別	評価割合(%)	評価方法	
	定期試験	80	対面による定期試験を実施する。	
	レポート試験	0		
	平常点評価	20	小テストによる評価を実施する。	
	評価のフィードバック方法 再試験		評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する。 実施しない。	
ルーブリック	4	3	2	1
	授業内容を越えた	授業内容をほ	到達目標は理解し	到達目標に達して

成績評価基準 (ルーブリック)	理解度	自主的な学修が認められる	ほぼ100%理解している	ているが、授業内容に不足がある	認められる
	課題解法能力	解法が分からない	何も参照せずに独自の力で課題を解くことができる	参考書などを参考にすれば、独自で課題を解くことができる	他人のアドバイスがあれば課題を解くことができる
	調査能力 (予習)	自ら進んで予習範囲を越えて調べて理解している	予習範囲を十分に理解し、他人に説明できる	指示された範囲は	予習するが、理解が不十分である

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/15(火)	2 時限	宮田 拓馬	B314	講義
	タイトル	外科看護学 1			
	授業内容	手術室における直接補助、間接補助の内容について学ぶ。術前手続きや術前検査、退院時の注意点と飼い主への説明事項について学ぶ。			
2.	2025/04/22(火)	2 時限	宮田 拓馬	B314	講義
	タイトル	外科看護学 2			
	授業内容	手術器具の準備と滅菌法について学ぶ。手洗い、手術着・手袋の着用法について学ぶ。無菌的処置の重要性、術野の消毒について学ぶ。			
3.	2025/05/20(火)	2 時限	宮田 拓馬	B314	講義
	タイトル	外科看護学 3			
	授業内容	タオル・ドレープ類の準備、手術室の機器類について学ぶ。器械台の準備、動物の適切なポジショニングについて学ぶ。代表的な手術器具の名称と使用法について学ぶ。			
4.	2025/05/27(火)	2 時限	宮田 拓馬	B314	講義
	タイトル	外科看護学 4			
	授業内容	創傷の種類と治癒過程と管理方法、ドレーンの装着と管理方法について学ぶ。止血法、骨折・脱臼の管理について理解する。動物理学療法の目的と意義、代表的な理学療法の原理と手技について学ぶ。			
5.	2025/06/03(火)	2 時限	関 瀬利	B314	講義
	タイトル	動物の麻酔学			
	授業内容	麻酔処置時における愛玩動物看護師の役割について学ぶ。麻酔リスクの評価、麻酔前投与、注射麻酔、吸入麻酔の手技、導入時、覚醒時のリスクと対処法について学ぶ。			
6.	2025/06/10(火)	2 時限	関 瀬利	B314	講義
	タイトル	動物の麻酔モニタリング			
	授業内容	麻酔監視項目の監視方法・意義、麻酔記録の作成法について学ぶ。			
7.	2025/06/17(火)	2 時限	関 瀬利	B314	講義
	タイトル	動物の救急救命学			
	授業内容	エマージェンシーの原因と病態について学ぶ。一次救命措置、二次救命措置、気管挿管と心肺蘇生の方法について学ぶ。			
8.	2025/06/24(火)	2 時限	関 瀬利	B314	講義
	タイトル	動物の腫瘍性疾患 1			
	授業内容	腫瘍性疾患の性質や分類法などの概論を学ぶ。腫瘍随伴症候群について学ぶ。			
9.	2025/06/30(月)	2 時限	藤田 道郎	B313	講義
	タイトル	動物の呼吸器疾患 1			
	授業内容	鼻から鼻咽頭にかけて疾患時に見られる呼吸状態について解説する。猫上部気道感染症、鼻炎などについて解説する。			
10.	2025/07/01(火)	2 時限	関 瀬利	B314	講義
	タイトル	動物の腫瘍性疾患 2			
	授業内容	動物の腫瘍性疾患において用いられる検査について学ぶ。			
	2025/07/07(月)	2 時限	藤田 道郎	B313	講義

11.	タイトル 授業内容	動物の呼吸器疾患 2 咽喉頭にかけて疾患時にみられる呼吸状態について解説する。 軟口蓋過長などについて解説する。	2025/07/08(火) 2 時限	関 瀬利	B314	講義
12.	タイトル 授業内容	動物の腫瘍性疾患 3 動物の腫瘍性疾患の治療援助について学ぶ。 化学療法副作用について学ぶ。 末期がん動物の看護援助について学ぶ。	2025/07/14(月) 2 時限	藤田 道郎	B313	講義
13.	タイトル 授業内容	動物の呼吸器疾患 3 気道~肺および胸腔・縦隔にかけて疾患時に見られる呼吸状態について解説する。 短頭種気道症候群、気管支拡張症、気管支炎、肺炎、肺水腫、猫喘息、膿胸、ジステンパー、ケンネルコフなどについて解説する。	2025/07/15(火) 2 時限	関 瀬利	B314	講義
14.	タイトル 授業内容	動物の輸液学 輸液の適応とリスク、計画、各種輸液材の特性や適応、輸液中のモニタリングについて学ぶ。				

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。  
※本科目を担当する教員は、本学動物医療センターの獣医師等であり、実務経験をもとに授業を行う。

科目No	212351000
ナンバリングコード	N3DA5201
科目名	動物臨床看護学総論
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	3
担当教員	小田 民美 秋山 蘭

授業のねらい	チーム獣医療において、専門性を発揮した動物看護ケア提供のために、動物病院における動物看護師の業務内容を、経営と動物看護管理、マネジメントの視点で学ぶ 身体機能障害を持つ動物の看護に関する基礎知識と具体的な援助方法を学ぶ 動物看護の視点での情報収集・アセスメント能力および動物看護過程を展開する能力を身に着ける
到達目標	①動物看護過程の基礎について、動物看護の視点で理解する ②動物看護管理、病院経営・マネジメントを理解する ③チーム獣医療における愛玩動物看護師の役割を理解する ④グループでのケーススタディを通して、動物看護過程の展開方法を具体的に考える
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	本講義では、動物内科看護学、動物外科看護学、動物臨床検査学、動物栄養学、動物臨床看護学各論I～III、動物医療コミュニケーションで学んだ知識が必要となるので、よく復習しておくこと。
履修上の留意点	講義およびグループワークに主体的に参加し、班員と連携・協働すること。
授業期間を通して出される課題	それぞれの単元で、復習テストおよびレポート課題、グループ課題があるため、学習支援システムから回答、提出すること。
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	講義内容の理解を深めるために、次回の講義で使用する講義資料や動画資料を事前に学習してくる(90分) グループワークでは事前にケーススタディの資料を閲覧し、関連する病気について予習する(30分) 復習として、それぞれの単元で出される復習テストやレポート課題に取り組む(90分)
テキスト、参考文献他	テキスト：愛玩動物看護師カリキュラム準拠 第9巻 動物臨床看護学総論/動物臨床看護学各論 (EDUWARD Press)、as BOOKS今からはじめる動物看護過程－事例でやさしく解説 (EDUWARD Press)
授業形態	講義：講義室内での講義、3～4名の少人数でのグループワーク(ケーススタディ)あり 学修支援システムから講義資料ダウンロード、動画資料の閲覧、課題提出、復習テスト回答

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	60	学期末に定期試験を実施する
	レポート試験	20	小テスト、課題レポートの提出状況、内容を評価する
	平常点評価	20	講義、グループワークに取り組む姿勢等を総

		合的に評価する
	評価のフィードバック方法 再試験	評価結果は学修支援システムを通して個別に通知する 実施しない
成績評価基準 (ループリック)	ループリック	4 3 2 1
	グループワーク活動 小テストや課題提出	相手の意見を尊重し、積極的にグループワークに参加している グループワークに参加しているが、積極性がない グループワークに参加できているが、発言がない グループワークに参加していない 理由ありの欠席 (欠席届提出) は 理由ありの欠席 (欠席届提出) が 理由なく欠席した回があり、かつ小テストや課題の提出がされていない回がある

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/15(火)	1 時限	秋山 蘭	B314	講義
	タイトル	愛玩動物看護師の職域と業務内容 授業内容 ・ 獣医療の高度化とともに発展したチーム獣医療の考え方について理解する ・ 動物看護師の職域について考える ・ 愛玩動物看護の役割と機能、組織における動物看護提供システムについて理解する			
2.	2025/04/22(火)	1 時限	小田 民美	B314	遠隔授業
	タイトル	動物看護管理学、動物病院マネジメント 授業内容 ・ 動物看護管理者としてマネジメントについて考える ・ 動物病院の安全管理に必要な考え方について理解する ・ 動物病院経営について学ぶ ・ 動物看護管理における安全管理 (医療事故対策、院内感染対策、災害対策) について学ぶ ・ 組織における動物看護提供システム、動物看護方式について学ぶ			
3.	2025/05/02(金)	1 時限	秋山 蘭	B314	講義
	タイトル	動物看護過程1：情報収集とアセスメント1 授業内容 ・ 動物看護過程の各ステップについて理解する ・ 動物看護過程を用いた系統的アプローチを通して個別的な動物看護計画・実践を考える ・ 動物看護上の問題の明確化を目的に、情報を収集・整理・解釈・判断する			
4.	2025/05/13(火)	1 時限	秋山 蘭	B314	講義
	タイトル	動物看護過程2：情報収集とアセスメント2 授業内容 ・ 動物看護上の問題の明確化を目的に、情報を収集・整理・解釈・判断する ・ 情報を整理する (動物像、病像、生活像) ・ 3本のラインにおける看護動物の現状を捉える ・ 看護動物の生活環境、飼い主が与える影響について考える			
5.	2025/05/20(火)	1 時限	秋山 蘭	B314	講義
	タイトル	動物看護過程3：動物看護診断1 授業内容 ・ 動物看護上の問題の明確化を目的に、情報を収集・整理・解釈・判断する ・ 関連図を作成する ・ 整理した情報をもとに、動物看護上の問題点を抽出する			
6.	2025/05/27(火)	1 時限	秋山 蘭	B314	講義
	タイトル	動物看護過程4：動物看護診断2 授業内容 ・ 問題点の優先度を判断できる ・ 病期の特徴について理解する (急性期、回復期、慢性期、寛解期、終末期) ・ 経過別の動物看護ケアを考える ・ 終末期の動物看護の特徴 (動物のQOLを考えたターミナルケア、グリーフケア、介護、エンゼルケア) について学ぶ			
	2025/06/03(火)	1 時限	秋山 蘭	B314	講義
	タイトル	動物看護過程5：動物看護計画・実践			

7.	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物看護過程を用いた系統的アプローチを通して個別的な計画を立て実践につなげる</li> <li>動物看護計画が立案できる</li> <li>ケアの標準化（クリティカルパス）と個別性を重視した動物看護について考える</li> <li>目標を達成するための具体策が提案できる</li> <li>看護動物の日々の状態を適切に評価し、動物看護を実践できる</li> <li>継続動物看護、飼い主の療養支援、飼い主教育について考える</li> </ul>	2025/06/10(火)	1 時限	秋山 蘭	B314	講義
8.	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物看護過程6：診療記録と動物看護記録の目的と書き方</li> <li>動物看護過程を用いた系統的アプローチを通して個別的な動物看護実践を考える</li> <li>POMR方式による診療記録の構成について理解する</li> <li>SOAP方式による動物看護経過記録の記載方法について学ぶ</li> <li>主観的情報（S）と客観的情報（O）を区別する</li> </ul>	2025/06/17(火)	1 時限	秋山 蘭	B314	講義
9.	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物看護過程7：動物看護記録の実践</li> <li>動物看護過程を用いた系統的アプローチを通して個別的な動物看護実践を考える</li> <li>SとOの情報から、動物看護の視点でアセスメント（A）することができる</li> <li>動物の日々の状態を適切に評価、記録できる</li> </ul>	2025/06/24(火)	1 時限	秋山 蘭	B314	講義
10.	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物看護過程8：動物看護評価と計画修正</li> <li>動物看護過程を用いた系統的アプローチを通して個別的な動物看護実践を考える</li> <li>実施された動物看護ケアについて、計画の達成度を評価する</li> <li>目標や具体策を修正し、再計画できる</li> </ul>	2025/07/01(火)	1 時限	秋山 蘭	E111	講義
11.	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーススタディ1</li> <li>事例から学ぶ動物看護過程の一連の流れをグループワークで実践する</li> </ul>	2025/07/08(火)	1 時限	秋山 蘭	E111	講義
12.	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケーススタディ2</li> <li>事例から学ぶ動物看護過程の一連の流れをグループワークで実践する</li> </ul>	2025/07/15(火)	1 時限	小田 民美	B314	遠隔授業
13.	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>周術期および外来時の動物看護</li> <li>動物看護過程を用いた系統的アプローチを通して個別的な動物看護実践を考える</li> <li>周術期および外来時の動物看護について理解する</li> <li>周術期および外来時の動物の状態を適切に評価、記録できる</li> </ul>	2025/07/22(火)	1 時限	秋山 蘭	B314	講義
14.	授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物看護過程のまとめと動物臨床看護学実習について</li> <li>動物看護過程の総復習、総合演習、後期の実習に向けた心構えについて</li> </ul>					

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。  
 ※本科目を担当する教員は、本学動物医療センターの愛玩動物看護師等であり、実務経験をもとに講義を行う。

科目No	212353000
ナンバリングコード	N3DA5401
科目名	実験動物学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	3
担当教員	袴田 陽二 小林 英司 藤澤 正彦

授業のねらい	動物実験の意義を正しく理解し、教育研究等に利用される代表的な実験動物の歴史、社会的位置づけ、特性、適正な飼育管理法、疾患モデル動物、動物実験代替法知識を修得するとともに、愛玩動物、産業動物、野生動物、展示動物などとも比較しその違いについて理解する。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 動物実験の歴史について正しく説明できる。</li> <li>2. 代表的な実験動物の基本的な取り扱い（保定、性別判定、個体識別、採血、採尿、投与など）を説明できる。</li> <li>3. 動物実験成績に影響を与える物理化学的、生物学的、栄養学的因子を説明できる。</li> <li>4. 動物種、品種、系統の概念を説明できる。</li> <li>5. 代表的な実験動物（ラット、マウス、ウサギ、モルモット、ハムスター、サルなど）の飼育管理、繁殖法を説明できる。</li> <li>6. 疾患モデル動物の歴史と現状を理解し、医学生物学研究における疾患モデル動物の位置づけが説明できる。</li> <li>7. 動物実験代替法について説明できる</li> </ol>
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	動物機能学、動物遺伝学、栄養学、微生物学・感染症等の関連科目の内容を理解、確認してから履修に臨むこと。
履修上の留意点	授業中の発言・質疑など、主体的に授業に参加すること。
授業期間を通して出される課題	-
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	内容の理解を深めるため次回の講義で取扱う参考図書等を事前に読むこと（100分）復習として、毎回のテーマについてまとめておく（100分）など
テキスト、参考文献他	テキスト：授業ごとにプリントを配布する。 応用動物看護学 3 動物行動学、伴侶動物学、産業動物学、実験動物学、野生動物学 (interzoo)
授業形態	対面講義 事前配布資料をスクリーンに投影して解説しながら授業を進める。
	種別 評価割合(%) 評価方法

成績評価基準	定期試験	100	学期末に定期試験を実施する 講義毎に小テストを実施する。 出席態度、質疑応答等、積極的な参加を総合的に評価する。		
	レポート試験	0			
	平常点評価	0			
	評価のフィードバック方法	ポータルサイトにて通達する。			
	再試験	必要に応じて行う。			
成績評価基準 (ルーブリック)	ルーブリック	4	3	2	1
	知識・理解?	到達目標にほぼ到達している。	80%以上、到達目標に到達している。	60~79%、到達目標に到達している。	到達目標への到達度が60%未満である。
	積極性	積極的に講義に取り組む姿勢がある。	前向きに講義に取り組む姿勢がある。	講義への参加意欲が乏しい。	講義への参加意欲が著しく乏しい。

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/09/19(金)	1 時限	袴田 陽二	B315	講義
	タイトル	実験動物の歴史と変遷(1) 授業内容 実験動物の定義を理解する 動物実験の根拠を説明できるようにする。			
2.	2025/09/26(金)	1 時限	袴田 陽二	B315	講義
	タイトル	実験動物の歴史と変遷 (2) 授業内容 1) 実験動物の歴史 2) 動物実験に関する国内外の関連法規等を学ぶ。 3) 実験動物における福祉上の問題について理解する 4) 3 R (Replacement (代替)、Reduction (削減)、Refinement (改善)) の概念と具体的方法について理解する			
3.	2025/10/03(金)	1 時限	袴田 陽二 藤澤 正彦	B315	講義
	タイトル	実験動物の比較：解剖と生理 授業内容 多種類の実験動物の生理学的特徴を比較し、その特徴を理解する。			
4.	2025/10/10(金)	1 時限	袴田 陽二	B315	講義
	タイトル	実験動物の遺伝育種と繁殖 授業内容 実験動物の遺伝学的統御と繁殖学の基本を理解する			
5.	2025/10/17(金)	1 時限	袴田 陽二	B315	講義
	タイトル	実験動物栄養学 授業内容 実験動物に必要な6大栄養素と役割を理解する			
6.	2025/10/24(金)	1 時限	袴田 陽二	B315	講義
	タイトル	動物施設と環境 授業内容 目的別の動物飼育施設の基本と動物実験に影響を及ぼす環境要因を理解する。			
7.	2025/11/07(金)	1 時限	袴田 陽二	B315	講義
	タイトル	実験動物の病気と感染 授業内容 各種実験動物の代表的な感染症を理解する。 微生物学的制御の特徴を理解する。			
8.	2025/11/14(金)	1 時限	袴田 陽二	B315	講義
	タイトル	実験動物学各論 授業内容 マウスの特性を理解する。			
9.	2025/11/21(金)	1 時限	袴田 陽二	B315	講義
	タイトル	実験動物学各論 授業内容 ラットの特性を理解する。			
10.	2025/11/28(金)	1 時限	袴田 陽二	B315	講義
	タイトル	実験動物学各論 授業内容 モルモット、その他の齧歯類の特性を理解する			
11.	2025/12/12(金)	1 時限	袴田 陽二	B315	講義
	タイトル	実験動物学各論 授業内容 犬、ネコ、ブタ他、大型動物の特性を理解する。 袴田 陽二			

12.	2025/12/19(金) 1 時限	小林 英司	B315	講義
	タイトル	実験医学の実際		
	授業内容	動物実験とヒトの医学の発展とを比較することで、その有用性を検証する。		
13.	2025/12/26(金) 1 時限	袴田 陽二	B315	講義
	タイトル	ブタ、サル、その他実験動物、代替法		
	授業内容	サル、その他の非哺乳動物の代表的な実験動物の特性を理解する。 代替法の定義とその具体例を紹介する。		
14.	2026/01/09(金) 1 時限	袴田 陽二 藤澤 正彦	B315	講義
	タイトル	疾患モデル動物学		
	授業内容	疾患モデル動物の作製法を解説するとともに、代表的なモデルの実例を紹介する。		

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212355000
ナンバリングコード	N4DA5501
科目名	適正飼養指導論
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	1
学年	4
担当教員	水越 美奈 岡田 友里香 濱野 佐代子

授業のねらい	愛玩動物の効用や飼養目的等を理解した上で、家庭等における飼育環境の整備、適正飼養の推進活動、終末期のケア、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 愛玩動物の適正飼養の現状、目的、概念について理解する</li> <li>2. 愛玩動物の飼養のニーズや目的、グリーンケア、ペットロスについてその概要と、飼い主の心情を踏まえた必要な支援について理解する</li> <li>3. 問題行動予防のための適切な飼養方法としつけ、飼い主に指導すべき事項や方法について理解する</li> <li>4. 適正飼養に関する支援の目的と活動（民間団体等によるものを含む。）について理解する</li> <li>5. 動物取扱業者における適正飼養について理解する</li> <li>6. 動物愛護管理行政における愛玩動物看護師の役割について理解する</li> <li>7. 動物愛護管理センターの活動及び動物愛護推進員・協議会の役割、動物取扱責任者の選任条件と役割について理解する</li> </ol>
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	2年次の「人と動物の関係学」の内容について理解していること テーマに関連する話題について教科書以外の書籍・論文等に目を通すと良い
履修上の留意点	オムニバスによる授業であるため、授業によって課題の提出（および期日）や評価が異なることに注意する
授業期間を通して出される課題	レポートを期日（基本的に1週間以内）に毎回提出する
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	予習：教科書を読む。できればテーマについて自分で調べてみる（100分） 復習：テーマに従って、授業内容とそれに対する自分の考えをまとめ、さらに理解を深めるために関連する文献等を調べ、レポートに仕上げる（100分）
テキスト、参考文献他	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書10巻「適正飼養指導論」日本動物保健看護系大学協会編 エデュワードプレス
授業形態	教室内での講義で実施する。資料は事前にポータルを通じて配信する

種別	評価割合(%)	評価方法
定期試験	40	5択の試験を実施する
レポート試験	50	レポートを毎回提出。授業欠席の場合もその日のテーマを自習し、可能な限り提出のこと

成績評価基準	平常点評価	10	授業態度および質疑応答や発言などの積極的な参加、およびレポートの提出期限の遵守を評価する 必要である場合、強化結果は学習支援システムを通じて個別に通知する 必要な場合は実施する
	評価のフィードバック方法		
	再試験		

成績評価基準 (ルーブリック)	ルーブリック	4	3	2	1
	レポート内容	授業の内容を十分に理解し、自分の意見をしっかりと述べ、理論の展開が明解である	授業の内容を十分に理解し、自分の意見がしっかりと述べられている	授業の内容を理解しているが、自分が不足、自分の意見が十分に述べられていない	授業の内容の理解が述べられていない
	レポート枚数 レポート作成における参考文献	A4用紙2枚程度 教科書以外の書籍や論文あり	A4用紙1~2枚 インターネット (URL) 記載あり	A4用紙1枚程度 その他	A4用紙半分以下 なし

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/14(月)	2時限	水越 美奈	B314	講義
	タイトル 授業内容	愛玩動物の適正飼養の目的と現状 愛玩動物の適正飼養の目的、現状と、飼養によって人間が受ける影響と問題について理解する			
2.	2025/04/21(月)	2時限	水越 美奈	B314	講義
	タイトル 授業内容	愛玩動物の適正飼養：動物取扱業者における適正飼養と適正飼養に関する支援 動物取扱業者における適正飼養と、適正飼養に関する支援の目的と活動について理解する			
3.	2025/04/28(月)	2時限	岡田 友里香	B314	講義
	タイトル 授業内容	愛玩動物の適正飼養：適切な伴侶動物の選択 適切な伴侶動物の選択と適正飼養について理解する			
4.	2025/05/12(月)	2時限	岡田 友里香	B314	講義
	タイトル 授業内容	愛玩動物の適正飼養：問題行動予防のために飼い主に指導すべき事項 問題行動予防のための適切な飼養方法と、しつけなど飼い主に指導すべき事項や方法について理解する			
5.	2025/05/19(月)	2時限	岡田 友里香	B314	講義
	タイトル 授業内容	愛玩動物の適正飼養：飼育環境の整備と社会化トレーニング 愛玩動物の飼育環境の整備と社会トレーニングの意義、必要性、方法、施設等について理解する			
6.	2025/05/26(月)	2時限	水越 美奈	B314	講義
	タイトル 授業内容	動物愛護管理行政 1. 動物愛護管理センターの活動と動物愛護推進員、動物愛護協議会等の役割を理解する 2. 動物取扱責任者とその選任要件について理解する 3. 飼い主指導の基盤としての公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割について理解する			
7.	2025/06/02(月)	2時限	濱野 佐代子	B314	講義
	タイトル 授業内容	終末期ケアとペットロス 愛玩動物の飼養のニーズや目的を理解するとともに、グリーフケア、ペットロスについてその概要と飼い主の心情や必要な支援について理解する			

その他

※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。  
※本科目を担当する教員は、本学動物医療センターの獣医師や動物病院に勤務する愛玩動物看護師であり、実務経験をもとに授業を行う。



科目No	212356000
ナンバリングコード	N4DA5601
科目名	動物生活環境学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	1
学年	4
担当教員	田中 亜紀 土田 あさみ 水越 美奈

授業のねらい	動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、災害獣医療、飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 動物行動学を踏まえた人とペットのための飼養環境整備の必要性や方法について理解する <ol style="list-style-type: none"> <li>1) ペット共生住宅の現状、環境整備・管理の方法について理解する</li> <li>2) ペットツーリズムの現状と実施方法、ペットを通じた地域振興について理解する</li> <li>3) ペット同伴宿泊ホテルやドッグランなどの環境整備・管理の方法について理解する</li> <li>4) 動物シェルターや災害時の避難施設の環境整備・管理の方法、シェルターメディスンについて理解する</li> <li>5) 学校飼育動物等の施設の環境整備・管理の方法について理解する</li> <li>6) 飼育マナーの必要性や目的、歴史や地域における飼育マナーの違いについて理解する</li> <li>7) 地方自治体において定められている飼育マナーに関する各種の条例について理解する</li> <li>8) 愛玩動物の種類別に必要とされている飼育マナーについて理解する</li> </ol> </li> </ol>
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	2年次の「人と動物の関係学」の内容について理解していること テーマに関連する話題について、教科書以外の書籍、論文等について目を通すようにすると良い
履修上の留意点	オムニバスであるため、授業によって課題や提出期日、評価が異なることに注意する
授業期間を通して出される課題	レポートを期日（基本的に1週間以内）に毎回提出する
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	予習：教科書を読む。できればテーマについて自分で調べてみる（100分） 復習：テーマに従って授業内容とそれに対する自分の考えをまとめ、さらに理解を深めるためにテーマについての文献等を調べ、レポートを仕上げる（100分）
テキスト、参考文献他	愛玩動物看護師カリキュラム準拠教科書第10巻「動物生活環境学」日本動物保健看護系大学協会編 エデュワードプレス
授業形態	教室内での講義で実施する。資料は事前にポータルを通じて配信する

種別	評価割合(%)	評価方法
定期試験	40	5択の試験を実施する レポートを毎回提出する。授業欠席の場合

成績評価基準	レポート試験	50	も、その日のテーマを自習し、可能な限り提出のこと
	平常点評価	10	授業態度および質疑応答や発言などの積極的な参加、およびレポートの提出期限の遵守
	評価のフィードバック方法	必要である場合、	評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する
	再試験	必要である場合は実施する	

成績評価基準 (ルーブリック)	ルーブリック	4	3	2	1
	レポート内容	授業の内容を十分に理解し、自分の意見もしっかりと述べられ、理論の展開が明解である	授業の内容を理解し、それに対する自分の考えが述べられている	授業は理解しているが、自分の意見が足りず、レポートの展開が不十分	授業の内容の理解が不十分である
	レポート枚数	A4用紙2枚程度	A4用紙1~2枚	A4用紙1枚程度	A4用紙半分以下
	レポート作成における参考文献	教科書以外の書籍や論文あり	インターネット (URL記載)	その他	なし

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/06/09(月)	2 時限	土田 あさみ	B314	講義
	タイトル	愛玩動物がこどもや高齢者に与える影響と問題点			
	授業内容	愛玩動物がこどもや高齢者に与える恩恵および人間の加齢に伴って飼育困難になる様々な事情について理解する			
2.	2025/06/16(月)	2 時限	土田 あさみ	B314	講義
	タイトル	学校飼育動物			
	授業内容	1. 学校飼育動物の目的や実態、愛玩動物看護師のかかわりについて理解する (文部科学省が道徳教育の一環として認めていることも含む) 2. 学校飼育動物等の施設の環境整備、管理方法について理解する			
3.	2025/06/23(月)	2 時限	水越 美奈	B314	講義
	タイトル	ペットの飼育マナーについて①			
	授業内容	1. 飼育マナーの必要性や目的、および歴史、地域によるマナーの違いについて理解する 2. 地方自治体において定められている飼育マナーに関する各種の条例について理解する			
4.	2025/06/30(月)	2 時限	水越 美奈	B314	講義
	タイトル	ペットの飼育マナーについて②			
	授業内容	1. 愛玩動物の種類別に必要とされている飼育マナーについて理解する 2. ペット共生住宅の現状、環境整備や管理の方法について理解する			
5.	2025/07/07(月)	2 時限	田中 亜紀	B314	講義
	タイトル	動物の保護収容施設について			
	授業内容	動物シェルターや災害時の避難施設の環境整備や管理の方法、シェルターメディスンについて理解する			
6.	2025/07/14(月)	2 時限	田中 亜紀	B314	講義
	タイトル	災害獣医療			
	授業内容	1. 災害時の同行避難の重要性を理解し、説明できる 2. 災害獣医療の概要と災害時における愛玩動物看護師の役割について理解する			
7.	2025/07/23(水)	2 時限	水越 美奈	B314	講義
	タイトル	ペットツーリズムとペット関連施設およびイベント			
	授業内容	1. ペットツーリズムやペット関連イベントの現状と地域振興について理解する 2. ペット同伴ホテルやドッグランなどの環境整備について理解する			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。



科目No 212357000  
 ナンバリングコード N4DA5701  
 科目名 動物栄養学各論  
 学科 獣医保健看護学科  
 科目区分 必修  
 授業区分 講義  
 単位数 2  
 学年 4  
 担当教員 森 昭博  
 徳本 一義  
 藤井 立哉

**授業のねらい** 人のみならず、動物においても栄養素は生命を維持するために欠くことのできない重要なものである。特に動物看護師はオーナーに対する食事指導など、ペットの栄養に関して重要な立場にある。本講義では、動物栄養学の基礎知識および臨床的知識の習得を目指す。また4年時の唯一の必須科目でもあるため、愛玩動物看護師国家試験を意識した授業内容とする。

**到達目標** 動物看護師として必要な栄養に関する基礎知識および臨床現場においてに必要な知識の習得

**事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能** 動物栄養学概論の単位を取得すること。

**履修上の留意点** 外部の先生の予定も考えて授業をするので、シラバスの順番で授業が行われたい可能性が高い。授業予定は事前に配布される授業スケジュールをしっかりと確認すること。

**授業期間を通して出される課題** -

**授業外学修の具体的な指示、時間の目安** 毎回の授業前にテキストや事前配布資料を用いて予習をすること。(100分ほど)  
 毎回の授業後に、講義資料を用いて復習をすること。(100分ほど)

**テキスト、参考文献他** 動物看護学教育標準カリキュラム準拠教科書8巻・動物栄養学 (EDUWARD press)

**授業形態** 教室における講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	100	学期末に定期試験を実施する。
	レポート試験	0	レポートの提出はない。
	平常点評価	0	出席が足りない場合(2/3以上の出席が必要)は試験を受けることができない
評価のフィードバック方法	再試験	評価結果は学修支援システムを通じて個別に通知する。 実施しない。	

成績評価基準 (ルーブ)	ルーブリック	4	3	2	1
定期試験の点数により成績を評価す	8割以上の理解	7割程度の理解	6割程度の理解	6割未満の理解	

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/14(月)	4 時限	森 昭博	B314	講義
	タイトル	消化器疾患の栄養管理(消化器・膵臓)			
	授業内容	消化器疾患の栄養管理(消化器・膵臓) について学習する			
2.	2025/04/21(月)	4 時限	森 昭博	B314	講義
	タイトル	消化器疾患の栄養管理(肝臓)			
	授業内容	消化器疾患の栄養管理(肝臓) について学習する			
3.	2025/04/28(月)	4 時限	藤井 立哉	B314	講義
	タイトル	ペットフードの法規制について			
	授業内容	ペットフードの法規制についてについて学習する			
4.	2025/05/12(月)	4 時限	森 昭博	B314	講義
	タイトル	慢性腎臓病の栄養管理、超音波検査について			
	授業内容	慢性腎臓病の栄養管理について学習する、超音波検査の見方について解説する			
5.	2025/05/19(月)	4 時限	森 昭博	B314	講義
	タイトル	皮膚疾患の栄養管理			
	授業内容	皮膚疾患の栄養管理について学習する			
6.	2025/05/26(月)	4 時限	徳本 一義	B314	講義
	タイトル	ペットフードの歴史、種類、材料、製造法			
	授業内容	ペットフードの歴史、種類、材料、製造法について学習する			
7.	2025/06/02(月)	4 時限	徳本 一義	B314	講義
	タイトル	尿石症①			
	授業内容	尿石症①について学習する			
8.	2025/06/09(月)	4 時限	徳本 一義	B314	講義
	タイトル	尿石症②			
	授業内容	尿石症②について学習する			
9.	2025/06/16(月)	4 時限	徳本 一義	B314	講義
	タイトル	猫下部尿路疾患の栄養管理			
	授業内容	猫下部尿路疾患の栄養管理について学習する			
10.	2025/06/23(月)	4 時限	森 昭博	B314	講義
	タイトル	心血管疾患の食事管理 愛玩動物看護師国家試験過去問の紹介			
	授業内容	心血管疾患の食事管理について学習する 愛玩動物看護師国家試験過去問の紹介			
11.	2025/06/30(月)	4 時限	森 昭博	B314	講義
	タイトル	ペットフード会社における獣医師、動物看護師の役割①			
	授業内容	ペットフード会社ではどのようなことを職務としているのかを学習する			
12.	2025/07/07(月)	4 時限	森 昭博	B314	講義
	タイトル	ペットフード会社における獣医師、動物看護師の役割②			
	授業内容	ペットフード会社で働く上でどのような知識が重要かについて学習する			
13.	2025/07/14(月)	4 時限	森 昭博	B314	講義
	タイトル	糖尿病動物の食事管理			
	授業内容	糖尿病動物の食事管理について学習する			
14.	2025/07/23(水)	4 時限	森 昭博	B314	講義
	タイトル	カルシウム代謝とその関連疾患について			
	授業内容	カルシウム代謝とその関連疾患について学習する。低血糖、強制給餌と経管・静脈栄養法について復習する			

## その他

※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。  
 ※本科目を担当する教員は、本学動物医療センターの獣医師等であり、実務経験をもとに授業を行う。

科目No	212380000
ナンバリングコード	N2DC0201
科目名	動物心理学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	選択
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	小林 眞理子 野瀬 出 濱野 佐代子

授業のねらい	様々な動物種を比較することで、動物の行動メカニズムを探る。また動物園の飼育動物の行動傾向や、飼育環境が行動にもたらす影響について検討する。さらに、イヌ、ネコ、ウマ、産業動物など人の生活に密着している動物の行動特性について理解し、人との関係について考える。				
到達目標	動物に共通するメカニズムを理解するとともに、その種に特有の行動を適切に説明する。動物の行動観察を実施し、データの収集・分析をする。種の特徴、生後の環境、経験から、ペットの問題行動を議論する。				
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	-				
履修上の留意点	多摩動物公園を訪問し、行動観察を実施する。交通費は自己負担となる。				
授業期間を通して出される課題	毎回の授業において、確認テストや小レポートの提出を求める。多摩動物公園に訪問後は、行動観察に関するレポート課題を課す。				
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	予習として、授業内で指定された資料の講読及び視聴（100分）。復習として、その日の授業内容を整理してまとめる（100分）。				
テキスト、参考文献他	適宜、資料を配布する。				
授業形態	対面での講義および実習を組み合わせる。場合によっては、オンデマンドとなる場合がある。				
成績評価基準	種別	評価割合(%)	評価方法		
	定期試験	50	選択肢式および記述問題		
	レポート試験	40	授業内で確認テストや小レポートを課す。		
	平常点評価	10	出席態度、質疑応答など積極的な授業参加を評価する。		
	評価のフィードバック方法	再試験	問い合わせに対し、個別にフィードバックする。 実施しない		
	ルーブリック	4	3	2	1
		動物心理学の基本動物心理学の基本動物心理学の基本動物心理学の基本			

成績評価基準 (ルーブリック)	知識・理解	的知識を十分に理解している。	的知識をある程度理解している。	的知識をあまり理解していない。	的知識をほとんど理解していない。
	説明・表現力	心理学的知見に基づいて、動物の行動を十分に適切に説明することができる。	心理学的知見に基づいて、動物の行動をある程度適切に説明することができる。	心理学的知見に基づいて、動物の行動を適切に説明することが難しい。	心理学的知見に基づいて、動物の行動を説明することがほとんどできない。
	態度・意欲	課題を期限内に提出し、内容的にも関心や意欲の高さが認められる。	課題を概ね期限内に提出し、内容的にも関心や意欲の高さがある程度認められる。	課題を概ね期限内に提出しているが、内容的には関心や意欲の高さがあまり認められない。	ほとんどの課題を期限内に提出していない。

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/17(木)	2時限	野瀬 出	B315	講義
	タイトル	動物心理学とは			
	授業内容	動物心理学とは、動物の知能、擬人化			
2.	2025/04/24(木)	2時限	野瀬 出	B315	講義
	タイトル	コミュニケーション			
	授業内容	ボディランゲージ、表情、音声、動物の言語研究			
3.	2025/05/01(木)	2時限	野瀬 出	B315	講義
	タイトル	社会性			
	授業内容	自己認知、社会集団、利他行動、心の理論			
4.	2025/05/08(木)	1時限 2時限	野瀬 出 濱野 佐代子	学外	実習
	タイトル	動物園での行動観察 (N1)			
	授業内容	多摩動物園を訪問し、展示動物の行動観察 (体験学習) を実施する。			
5.	2025/05/15(木)	1時限 2時限	野瀬 出 濱野 佐代子	学外	実習
	タイトル	動物園での行動観察 (N2)			
	授業内容	多摩動物園を訪問し、展示動物の行動観察 (体験学習) を実施する。			
6.	2025/05/22(木)	1時限 2時限	野瀬 出 濱野 佐代子	B315	実習
	タイトル	行動観察データの解析			
	授業内容	多摩動物公園で収集した行動データの解析を行う。			
7.	2025/05/29(木)	2時限	野瀬 出	B315	講義
	タイトル	環境エンリッチメント			
	授業内容	展示動物における動物福祉			
8.	2025/06/05(木)	2時限	濱野 佐代子	B315	講義
	タイトル	犬の認知能力			
	授業内容	犬の認知能力について概説する。			
9.	2025/06/12(木)	2時限	小林 眞理子	B315	講義
	タイトル	馬の心理			
	授業内容	行動から推測する馬の気持ち			
10.	2025/06/19(木)	2時限	担当教員	B315	講義
	タイトル	産業動物の心理			
	授業内容	産業動物の行動を研究している講師を招いて、動物福祉の観点も含めて、概説してもらう。			
11.	2025/06/26(木)	2時限	濱野 佐代子	B315	講義
	タイトル	動物福祉と動物虐待			
	授業内容	動物虐待のメカニズムについて概説し、事例について検討する。動物福祉について考える。			
12.	2025/07/03(木)	2時限	濱野 佐代子	B315	
	タイトル	人と動物の絆			

13.	授業内容	人と動物の絆の形成について学ぶ。また、ペットロスについて概説する。	
	2025/07/10(木) 2 時限	野瀬 出	B315
		濱野 佐代子	
	タイトル	まとめ・試験	
	授業内容	授業の振り返り、試験を行う。	

その他	※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。 ※本科目を担当する教員は、本学動物医療センターの獣医師等であり、実務経験をもとに授業を行う。		
-----	--	--	--

Copyright FUJITSU LIMITED 2005-2011

科目No	212381000
ナンバリングコード	N2DC0301
科目名	動物免疫学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	選択
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	青木 博史 塩川 舞

授業のねらい	動物免疫学では、動物が生命を維持していくために不可欠な免疫機構を学び、これらの知識を基に、感染予防、疾病予防、健康維持法、または抗病性の高い動物の選択技術などについてその理論を習得することを目的とする。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 脊椎動物を中心に、自然免疫と獲得免疫、体液性免疫と細胞性免疫について理解する。</li> <li>2. 自己と非自己の認識反応について説明できる。</li> <li>3. 免疫とかわる疾病、治療、応用技術について理解し、議論できる。</li> </ol>
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	動物機能学、動物形態学、動物遺伝学、動物生化学、動物病理学、動物微生物学で学ぶ生物学的及び細胞生物学的な基礎知識を確認しながら履修に臨むこと。
履修上の留意点	愛玩動物看護師法に定める科目の「動物感染症学」に含まれる免疫学の基礎的な部分は「動物微生物学」などで講義する。従って、本講の内容は専門的な内容を多分に含む。免疫学をより深く学びたい、復習のために学びたい、などの学生向きである。
授業期間を通して出される課題	講義回によってレポートを課す場合がある。
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	内容を深めるため、次回の講義の内容に合致する教科書内の項目を事前に読んでおくこと。ポータルに掲示してある事前資料等に目を通しておくこと。(100分) 復習として、ポータルに掲示した教材及び参照資料を参考に、毎回のテーマについてまとめておくこと。小テスト及びレポートが課されている場合には、期日内に回答すること(100分)
テキスト、参考文献他	<p>[教科書] 基本的な内容：愛玩動物看護師の教科書第3巻（緑書房） より専門的な内容：図解免疫学（オーム社）</p> <p>[参考書] イラストで見る獣医免疫学 第7版（株式会社インターズー）</p> <p>[その他] 講義に用いたスライドはポータルに掲示する。印刷配布はしない。</p>
授業形態	講義室内での対面講義。

種別	評価割合(%)	評価方法
定期試験	80	期末定期試験中の試験（筆記）、その評点を総合評価に用いる。
レポート試験	0	レポート試験は行わない。

成績評価基準	平常点評価	20	学習状況（受講状況、ポータル活用、質問等）及び復習用確認小テスト評点を総合評価に用いる。
	評価のフィードバック方法		オフィスアワーにおいて問い合わせがあった場合に、個別にフィードバックする。採点された答案は開示可能であるが、返却はしない。
	再試験		再試験は実施しない（次年度以降の同定期試験を受験すること）。

		4	3	2	1
成績評価基準（ルーブリック）	免疫の基礎的理解	脊椎動物における各種免疫（反応）の知識を十分に理解し、それぞれの関係性を理解し、説明することができる。	脊椎動物における自然免疫と獲得免疫、体液性免疫と細胞性免疫を区別して理解し、説明することができる。	脊椎動物における自然免疫と獲得免疫、体液性免疫と細胞性免疫を区別して理解している。	脊椎動物における自然免疫と獲得免疫、体液性免疫と細胞性免疫を区別して理解している。
	免疫と疾病	動物の免疫と、動物の健康維持及び疾病との関係を理解し、十分に考察し、愛玩動物看護師への応用を含めて適切に説明することができる。	動物の免疫と、動物の健康維持及び疾病との関係を理解し、愛玩動物看護師への応用を含めて適切に説明することができる。	動物の免疫と、動物の健康維持及び疾病との関係を理解し、適切に説明することができる。	動物の免疫と、動物の健康維持及び疾病との関係を理解している。
	免疫学的な反応と検査	各種免疫反応を正しく理解し、その原理を説明でき、獣医療における免疫学的検査への利用についても説明できる。	各種免疫反応を正しく理解し、獣医療における免疫学的検査への利用についても説明できる。	各種免疫反応を正しく理解し、免疫学的検査への応用の例を挙げられる。	各種免疫反応を正しく理解している。

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/16(水)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	免疫学とは			
2.	2025/04/23(水)	2時限	塩川 舞	B315	講義
	タイトル	自然免疫と獲得免疫			
3.	2025/04/30(水)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	抗原			
4.	2025/05/07(水)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	抗体			
5.	2025/05/14(水)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	抗原抗体反応と試験法			
6.	2025/05/21(水)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	免疫に關与する臓器			
7.	2025/05/28(水)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	免疫担当細胞（その1）			
8.	2025/06/04(水)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	免疫担当細胞（その2）			

	授業内容	リンパ系由来の免疫担当細胞の種類と役割について学ぶ			
	2025/06/11(水)	2 時限	青木 博史	B315	講義
9.	タイトル	遺伝的支配			
	授業内容	免疫応答の多様性、遺伝子支配、MHCについて学ぶ			
	2025/06/18(水)	2 時限	塩川 舞	B315	講義
10.	タイトル	細胞性免疫反応			
	授業内容	細胞性免疫反応の定義、役割、関係する細胞などについて学ぶ			
	2025/06/25(水)	2 時限	塩川 舞	B315	講義
11.	タイトル	免疫反応の調節			
	授業内容	体液性と細胞性の免疫反応の連携、免疫反応の調節メカニズムについて学ぶ			
	2025/07/02(水)	2 時限	塩川 舞	B315	講義
12.	タイトル	免疫と疾病 (その1)			
	授業内容	感染防御の免疫反応について学ぶ			
	2025/07/09(水)	2 時限	塩川 舞	B315	講義
13.	タイトル	免疫と疾病 (その2)			
	授業内容	過敏症 (アレルギー) について学ぶ			
	2025/07/16(水)	2 時限	塩川 舞	B315	講義
14.	タイトル	免疫と疾病 (その3)			
	授業内容	免疫不全、自己免疫、がん免疫について学ぶ			

その他 学則のとおり定期試験の受験には2/3以上の出席が必要である。学則に従った欠席届の手続きがあった場合に限り、その理由次第では出席と同等に扱う場合がある。  
※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212382000
ナンバリングコード	N2DC0401
科目名	動物防疫学
学科	獣医保健看護学科
科目区分	選択
授業区分	講義
単位数	2
学年	2
担当教員	青木 博史

授業のねらい	動物衛生、公衆衛生、あるいは獣医療に係る種々の問題とその要因を究明し、対策を講じるため、それらに必要な獣疫学の一般概念と方法論を習得し、動物の保健看護への応用力を身につける。									
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 獣疫学が日常生活に深く関与することを理解する</li> <li>2. 獣疫学の方法論を学び、問題・課題に対して適切な疫学方法を選択できる</li> <li>3. 獣疫学が関与する様々な事例を説明し、問題点を議論できる</li> <li>4. 動物保健領域や動物看護領域に獣疫学を応用できる</li> </ol>									
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	動物微生物学（2N前期・必須）および公衆衛生学（2N後期・必須）で学ぶ基礎知識を確認しながら、または関連させながら履修に臨むこと。また、数学や確率・統計の知識がある程度要するため、必要に応じて確認すること。									
履修上の留意点	愛玩動物看護師法に定める科目の「公衆衛生」に含まれる疫学の基礎的な部分は「公衆衛生」で講義する。従って、本講は専門的内容を多分に含む。獣疫学や防疫学をより深く学びたい、復習のために学びたい、などの学生向きである。									
授業期間を通して出される課題	-									
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	内容を深めるため、次回の講義の内容に合致する教科書内の項目を事前に読んでおくこと。ポータルに掲示する事前資料等に目を通しておくこと（80分） 復習として、講義で取り扱う教科書、ポータルに掲示する各種資料等を参考に毎回のテーマについてまとめ、小テストおよびレポートがある場合にはそれに回答等すること（120分）									
テキスト、参考文献他	<p>[教科書] 各個人の求めに応じて以下のいずれかの教科書で差し支えない。 基礎的な内容：愛玩動物看護師の教科書 第3巻 基礎動物看護学（緑書房） 専門的な内容：獣疫学＜第三版＞（近代出版）</p> <p>[その他] スライドはポータルに掲示する。印刷配布はしない。</p>									
授業形態	教室内での対面講義。									
成績評価基準	<table> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>評価割合(%)</th> <th>評価方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定期試験</td> <td>70</td> <td>期末定期試験中に試験（筆記）し、その評点を総合評価に用いる。</td> </tr> <tr> <td>レポート試験</td> <td>20</td> <td>講義回によって出されるレポートまたは演習の評点を総合評価に用いる。</td> </tr> </tbody> </table>	種別	評価割合(%)	評価方法	定期試験	70	期末定期試験中に試験（筆記）し、その評点を総合評価に用いる。	レポート試験	20	講義回によって出されるレポートまたは演習の評点を総合評価に用いる。
種別	評価割合(%)	評価方法								
定期試験	70	期末定期試験中に試験（筆記）し、その評点を総合評価に用いる。								
レポート試験	20	講義回によって出されるレポートまたは演習の評点を総合評価に用いる。								

準	平常点評価	10	学習状況（受講状況、ポータル活用、質問等）及び復習用確認小テストの利用状況を総合評価に用いる。
	評価のフィードバック方法 再試験		オフィスアワーにおいて問い合わせがあった場合に、個別にフィードバックする。 実施しない。

		4	3	2	1
成績評価基準（ルーブリック）	獣疫学の知識	獣疫学の目的、対象範囲、社会応用について正しく理解し、獣医保健看護領域への適応や実例を含めて説明することができる。	獣疫学の目的、対象範囲、社会応用について理解し、獣医保健看護領域への適応を含めて説明することができる。	獣疫学の目的や対象範囲について理解し、獣医保健看護領域への適応を含めて説明することができる。	獣疫学の目的や対象範囲について理解している。
	獣疫学的手法に関する知識	獣疫学的な各手法の特徴、違い、適応を正しく理解し、他者に適切に説明することができる。	獣疫学的な各手法の特徴、違い、適応を理解し、他者に説明することができる。	獣疫学的手法の特徴を理解し、他者に説明することができる。	獣疫学的手法の特徴を理解している。
	獣疫学的な解析	課題に対して自ら適切な獣疫学的手法を選択し、解析し、適切な解釈を説明し、議論することができる。	課題に対して自ら獣疫学的手法を選択し、解析し、解釈を説明することができる。	課題に対して与えられた獣疫学的手法を用いて解析することができる。	課題に対して与えられた獣疫学的手法を用いて解析することができる。

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/09/19(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	動物防疫学（獣疫学）とは			
	授業内容	獣疫学の概念、歴史・目的・課題、獣医保健看護領域における疫学の有用性について学ぶ			
2.	2025/09/26(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	疫学の3要素と要因			
	授業内容	疫学の3要素、疾病と曝露、疾病の発生要因、感染症疫学の特徴について学ぶ			
3.	2025/10/03(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	疫学指標			
	授業内容	疫学で用いられる指標の種類とその意味について学ぶ			
4.	2025/10/10(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	因果関係			
	授業内容	因果関係、因果関係の有無の判断、推論について学ぶ			
5.	2025/10/17(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	誤差と因果関係			
	授業内容	誤差の種類、特徴、因果関係との関係、制御方法について学ぶ			
6.	2025/10/24(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	疫学研究方法（その1）			
	授業内容	記述疫学について学ぶ			
7.	2025/11/07(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	疫学研究方法（その2）			
	授業内容	分析疫学（生態学的研究・横断研究・症例対照研究）について学ぶ			
8.	2025/11/14(金)	2時限	青木 博史	B315	講義
	タイトル	疫学研究方法（その3）			
	授業内容	分析疫学（コホート研究ほか）について学ぶ			
	2025/11/21( )			B315	

9.	金 2時限	青木 博史	講義
	タイトル	疫学研究方法（その4）	
	授業内容	介入研究（臨床試験・野外試験・地域介入研究）について学ぶ	
	2025/11/28(金) 2時限	青木 博史	B315 講義
10.	タイトル	統計学的方法	
	授業内容	疫学で活用される統計的方法について、考え方、理論、実例について学ぶ	
	2025/12/12(金) 2時限	青木 博史	B315 講義
11.	タイトル	標本抽出	
	授業内容	疫学における標本の意味、標本抽出の重要性、標本抽出法の種類と特徴について学ぶ	
	2025/12/19(金) 2時限	青木 博史	B315 講義
12.	タイトル	サーベイランスとスクリーニング	
	授業内容	サーベイランスとスクリーニングの特徴と意義、効果、相違点、応用例について学ぶ	
	2025/12/26(金) 2時限	青木 博史	B315 講義
13.	タイトル	特定分野の疫学	
	授業内容	非感染症の疫学、臨床疫学、分子疫学、理論疫学などについて学ぶ	
	2026/01/09(金) 2時限	青木 博史	B315 講義
14.	タイトル	家畜防疫の事例	
	授業内容	海外悪性伝染病の疫学解析と事例について学ぶ	

#### その他

学則のとおり定期試験の受験には2/3以上の出席が必要である。学則に従った欠席届の手続きがあった場合に限り、その理由次第では出席と同等に扱う場合がある。  
 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No 212383000  
 ナンバリングコード N2DC0501  
 科目名 動物行動生理学  
 学科 獣医保健看護学科  
 科目区分 選択  
 授業区分 講義  
 単位数 2  
 学年 2  
 担当教員 近藤 保彦

**授業のねらい** 動物の保健看護に携わるにあたって動物の行動を理解することは必須となります。この授業では、動物たちの行動はいかなるもので、それがどのような生物学的背景を持っているのかを学ぶことを目的としています。

**到達目標** この授業では、動物行動の中でも特に社会行動を中心に学んでいきます。これらの行動は、ある部分では生得的なプログラムに従い、またある部分では学習や経験から成り立っています。これらの行動学的・生理学的仕組みを理解することを目標とします。

**事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能** 動物看護の教科書、「形態機能学」をよく復習しておいてください。

**履修上の留意点** 各講義ではプリントを配ります。講義では、プリント、板書、そして講義の内容をもとにしっかりとしたノートを作ってください。

**授業期間を通して出される課題** -

**授業外学修の具体的な指示、時間の目安** 1～3回目の授業は生理学・解剖学と重複するところなので、本授業の予習として形態機能学の教科書を読みなおして良く復習をしておくこと。4回目以降は、下記教科書の関連章を読み込んで予習してくる。授業中にノートをしっかりととり、復習としてノートと教科書の内容を対応させて整理してください。予習に1.5時間、復習に2時間の学修を想定しています。

**テキスト、参考文献他** 近藤保彦ら編著「脳とホルモンの行動学—行動神経内分泌学への招待」西村書店，2010.

**授業形態** プリント、スライドを使いながら講義を行います。講義後、質問を受けつけます。

成績評価基準	種別	評価割合(%)		評価方法	
	定期試験	90	プリント、ノート、教科書の持ち込み可の試験を行います。		
レポート試験	0	レポートは行いません。			
平常点評価	10	出席態度			
評価のフィードバック方法	問い合わせに応じます				
再試験	行わない				
理解度	ルーブリック	4	3	2	1
		授業内容を越えた自主的な学修が認められる	授業内容をほぼ100%理解している	到達目標は理解しているが、授業内内容に不足がある	到達目標に達していることが認められる

成績評価基準 (ルーブリック)	課題解法能力	解法が分からない何も参照せずに独 他人にアドバイス自の能力で課題を ができる 解くことができる	参考書などを参考 にすれば、自分で 課題を解くことが できる	他人のアドバイス があれば課題を解 くことができる
	調査能力 (予習)	自ら進んで予習範 困を越えて調べて理解し、他人に説 いる 明できる	予習範囲を十分に指示した予習範囲 指示された範囲は 理解にあいま 予習するが、理解 な点がある	予習するが、理解 が不十分である

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/09/24(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	動物行動生理学概要			
	授業内容	ヨーロッパで生まれた動物行動学(エソロジー)について概観し、さらに同時期にアメリカで始まった行動の神経内分泌学的研究について紹介する。動物行動の発現において脳がどのような役割を果たすか、内分泌系がどのような役割を果たすかを理解する。			
2.	2025/10/01(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	脳：行動の解剖学的基盤			
	授業内容	脳の構造について発生学的に理解することにより、様々な動物の脳の共通する部分を見つけることができる。魚類、両生類、爬虫類、鳥類、哺乳類（げっ歯類からヒトまで）の脳について概観する。			
3.	2025/10/08(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	ホルモン：行動の生理学的盤			
	授業内容	行動の発現調節に特に重要なホルモンについて、分泌調節から作用機序、機能について学ぶ。			
4.	2025/10/15(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	性決定と性分化			
	授業内容	行動には、生殖行動をはじめとして攻撃行動、母性行動などに性に依存するものが多い。そこで性の決定と性分化を学ぶことによって、雄と雌の違いについて考察する。			
5.	2025/10/29(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	脳の性分化			
	授業内容	脳の構造学的性差は驚くほど小さいにもかかわらず、行動には大きな性差が歴然としてある。このような性差がどのような仕組みで作られていくかを理解する。			
6.	2025/11/05(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	フェロモンと行動			
	授業内容	動物、特に哺乳類の社会行動において化学信号が果たす役割は極めて大きい。嗅覚とフェロモンの違いを理解し、それぞれの行動調節における役割を理解する。			
7.	2025/11/12(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	雄性行動			
	授業内容	性的に成熟した雄は、同種の発情雌に対して接近を試み、生殖行動を行う。これらの行動の生理学的基盤について考える。			
8.	2025/11/19(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	雌性行動			
	授業内容	動物の雌は、周期的に内分泌状態を変化させ、発情と非発情を繰り返す。非発情の状態では雄のアプローチを拒否するのに対して、発情状態では雄を受け入れ、交尾が成立する。これらの行動の神経内分泌機序について考える。			
9.	2025/11/26(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	きずな形成			
	授業内容	プレイリーハタネズミは、哺乳類では珍しく一夫一婦制の社会構造を形成する。特定の異性個体と社会的関係を築くためにはどのような生理学的基盤が必要であるかを学ぶ。			
10.	2025/12/03(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
	タイトル	母性行動			
	授業内容	妊娠した雌が出産まじかになると巣作りをし、そして出産直後から子育て行動を開始する。これらのことから子育て行動の神経内分泌要件を考察する。			
	2025/12/10(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義

11.	タイトル	テリトリーと攻撃行動			
	授業内容	多くの種の雄は繁殖戦略としてテリトリーを形成し、他の雄のテリトリーへの侵入を防ぐため、攻撃行動を示す。一方、雌は授乳期間以外に攻撃行動を示すことはない。これら攻撃行動の生理学的基盤を考察する。			
	2025/12/17(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
12.	タイトル	行動の周期性			
	授業内容	動物の行動は様々な周期性を持つ。一番代表的なものは、昼夜の1日周期であり、これは明暗の手掛かりがなくても周期性が現れ概日周期と呼ばれ、時計遺伝子によって制御されている。そのほか、排卵周期や季節繁殖についても考察する。			
	2025/12/24(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
13.	タイトル	情動行動			
	授業内容	動物に情動があるかを証明することは極めて困難であるものの、状況として情動を引き起こしうる場面では特異な行動パターンが現れることから、これを情動行動として研究されている。情動行動とホルモンの関係を考察する。			
	2026/01/14(水)	1 時限	近藤 保彦	B315	講義
14.	タイトル	社会的地位と繁殖行動			
	授業内容	動物が集団で生活する時、そこに社会的地位が現れる。この社会的地位は様々な行動に影響し、また繁殖能力にまで影響は及ぶ。社会的刺激によって性転換する魚類や爬虫類、そして真社会性をもつハダカデバネズミの例を挙げ考察する。			

その他	動物たちは、私たち人間と同様、他個体との社会的相互作用を通して様々な活動を行いながら生活しています。雄どうしは自分のテリトリーを守るために闘争行動を示し、雄と雌とでは自分の種を維持し、子孫を残すために様々な求愛行動をし、性行動（交尾）をします。これらの行動の発現にはフェロモンという特殊な化学信号が重要な役割を果たします。この授業の目的は、これらの行動の生理学的メカニズムを知ることにあります。講義ではこれらの行動をどのように実験動物である小型げっ歯類を使って実験室で実現するか、その行動測定方法と実験技法を説明します。それらを通して行動のホルモンによる調節や神経調節について学びます。 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。
-----	---

科目No 212384000  
 ナンバリングコード N2DC0601  
 科目名 動物生態学  
 学科 獣医保健看護学科  
 科目区分 選択  
 授業区分 講義  
 単位数 2  
 学年 2  
 担当教員 山本 俊昭  
 梶本 樹

**授業のねらい** 地球上に生息する動物には、不思議な色、形をした種がいる。これら生き物の性質はすべて進化の産物である。したがって、生き物を理解する上で「進化」を学ぶことは必要不可欠であるといえる。本講義では、その不思議な性質がなぜ進化したのかを考えていく。

**到達目標** 高校の生物学ではあまり触れない生態学であるが、本講義では特に進化生態学および行動生態学の考え方を理解してもらう。

**事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能**

-

**履修上の留意点**

-

**授業期間を通して出される課題**

-

**授業外学修の具体的な指示、時間の目安**

復習として、毎回のテーマをまとめておく

**テキスト、参考文献他**

①進化とはなんだろうか 長谷川真理子 著②生態学入門 日本生態学会編

**授業形態**

教室内での講義・グループディスカッションを含む

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	70	学期末に定期試験を実施する
	レポート試験	0	レポート試験は行わない
	平常点評価	30	出席態度、小テストによって評価する
	評価のフィードバック方法		ポータルにて個別に知らせる。
	再試験		実施しない

	ルーブリック	4	3	2	1
成績評価基準 (ルーブ	理解度	授業内容を越えた自主的な学修が認められる	授業内容をほぼ100%理解している	到達目標は理解しているが、授業内に不足がある	到達目標に達していることが認められる
		解法が分からない何も参照せずに独	解法が分からない何も参照せずに独	参考書などを参考にすれば、独自で	他人のアドバイスを参考にすれば、独自で

リック)	課題解法能力	他人にアドバイス自の能力で課題を ができる 解くことができる	課題を解くことが できる	があれば課題を解 くことができる
	調査能力（予習）	自ら進んで予習範囲を十分に指示した予習範囲 を越えて調べて理解し、他人に説の理解にあいま いる 明できる	指示された範囲は 予習するが、理解 な点がある	が不十分である

概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/09/30(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	至近要因と究極要因			
2.	2025/10/07(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	進化のメカニズム：自然淘汰・遺伝的浮動			
3.	2025/10/14(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	個体変異の源泉：突然変異			
4.	2025/10/21(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	種分化：同所的種分化・異所的種分化			
5.	2025/10/28(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	利他行動の進化：包括適応度・血縁淘汰			
6.	2025/11/11(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	性選択 1：同性内淘汰・異性間淘汰			
7.	2025/11/18(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	性選択 2：ランナウェイ理論・ハンディーギャップ理論			
8.	2025/11/25(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	最適化戦略			
9.	2025/12/02(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	ゲーム理論：進化的に安定な戦略 グループディスカッションを行う			
10.	2025/12/09(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	性比の進化 1：フィッシャーの性比理論			
11.	2025/12/16(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	性比の進化 2：局所的配偶競争・局所的資源競争			
12.	2025/12/23(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	有性生殖と無性生殖			
13.	2026/01/13(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	擬態の進化			
14.	2026/01/20(火)	1 時限	山本 俊昭	B315	講義
	タイトル 授業内容	性転換する生物			

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No	212386000
ナンバリングコード	N3DC0801
科目名	野生動物学II
学科	獣医保健看護学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	3
担当教員	山本 俊昭 鳶本 樹 田島 木綿子 中田 友明

**授業のねらい** 哺乳類のみならず脊椎動物である魚類、両生類、爬虫類、さらには鳥類を対象とし、各動物群の特性を学び、系統間の類似点および相違点を理解することが目的である。

- 到達目標**
- 1) 各分類群の特性を理解する
  - 2) 分類群間の類似点、相違点が挙げることができる
  - 3) 脊椎動物の進化を学ぶ

**事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能** -

**履修上の留意点** -

**授業期間を通して出される課題** -

**授業外学修の具体的な指示、時間の目安** 復習として、毎回のテーマをまとめておくこと。

**テキスト、参考文献他** 魚類学（恒星社厚生閣）・哺乳類の生物学（東京大学出版）

**授業形態** 教室内での講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
<b>成績評価基準</b>	定期試験	100	学期末に定期試験を実施する。
	レポート試験	0	レポート試験は行わない。
	平常点評価	0	
	評価のフィードバック方法	定期試験	
	再試験	成績不振者に対し再試験を行う場合がある。	

	4	3	2	1
<b>ルーブリック</b>				
<b>理解度</b>	授業内容を越えた自主的な学修が認められる	授業内容をほぼ100%理解している	到達目標は理解しているが、授業内容に不足がある	到達目標に達していることが認められる

成績評価基準 (ルーブリック)	課題解法能力	解法が分からない何も参照せずに独 他人にアドバイス自の能力で課題を ができる 解くことができる	参考書などを参考 にすれば、自分で 課題を解くことが できる	他人のアドバイス があれば課題を解 くことができる
	調査能力 (予習)	自ら進んで予習範 疋を越えて調べて理解し、他人に説 ける 明できる	予習範囲を十分に 指示した予習範囲 の理解にあいま い予習するが、理 解	指示された範囲は 不十分である

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/11(金)	2時限	山本 俊昭	B314	講義
	タイトル		魚類の動物学 (山本)		
	授業内容		魚類の動物学		
2.	2025/04/18(金)	2時限	山本 俊昭	B314	講義
	タイトル		魚類の動物学 (山本)		
	授業内容		魚類の動物学		
3.	2025/04/25(金)	2時限	山本 俊昭	B314	講義
	タイトル		魚類の動物学 (山本)		
	授業内容		魚類の動物学		
4.	2025/05/09(金)	2時限	中田 友明	B314	講義
	タイトル		爬虫類・両生類の動物学 (中田)		
	授業内容		爬虫類・両生類の動物学		
5.	2025/05/16(金)	2時限	中田 友明	B314	講義
	タイトル		爬虫類・両生類の動物学 (中田)		
	授業内容		爬虫類・両生類の動物学		
6.	2025/05/23(金)	2時限	中田 友明	B314	講義
	タイトル		爬虫類・両生類の動物学 (中田)		
	授業内容		爬虫類・両生類の動物学		
7.	2025/05/30(金)	2時限	担当教員	B314	講義
	タイトル		鳥類の動物学 (富田)		
	授業内容		鳥類の動物学		
8.	2025/06/06(金)	2時限	担当教員	B314	講義
	タイトル		鳥類の動物学 (富田)		
	授業内容		鳥類の動物学		
9.	2025/06/13(金)	2時限	田島 木綿子	B314	講義
	タイトル		海棲哺乳類の動物学 (田島)		
	授業内容		海棲哺乳類の動物学		
10.	2025/06/20(金)	2時限	田島 木綿子	B314	講義
	タイトル		海棲哺乳類の動物学 (田島)		
	授業内容		海棲哺乳類の動物学		
11.	2025/06/27(金)	2時限	田島 木綿子	B314	講義
	タイトル		海棲哺乳類の動物学 (田島)		
	授業内容		海棲哺乳類の動物学		
12.	2025/07/04(金)	2時限	田島 木綿子	B314	講義
	タイトル		海棲哺乳類の動物学 (田島)		
	授業内容		海棲哺乳類の動物学		
13.	2025/07/11(金)	2時限	田島 木綿子	B314	講義
	タイトル		海棲哺乳類の動物学 (田島)		
	授業内容		海棲哺乳類の動物学		
14.	2025/07/18(金)	2時限	田島 木綿子	B314	講義
	タイトル		海棲哺乳類の動物学 (田島)		
	授業内容		海棲哺乳類の動物学		

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。



科目No	212388000
ナンバリングコード	N4DC1501
科目名	動物介在療法論
学科	獣医保健看護学科
科目区分	選択
授業区分	実習
単位数	2
学年	4
担当教員	小林 眞理子 生野 佐織 土田 あさみ 的場 美芳子

**授業のねらい** 基礎的な動物介在療法・活動・教育に関する習得を目指す。特にこれらの動物介在介入に使用される動物に関する知識を習得することを目標とする。

**到達目標** 動物介在療法・活動・教育の基礎が理解でき、そこで使用される動物に関する知識を有することができる。

**事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能** 2年次の人間動物関係論を良く理解してから、履修に臨んでいただきたい。

**履修上の留意点**

**授業期間を通して出される課題** -

**授業外学修の具体的な指示、時間の目安** 復習として、毎回のテーマについてまとめておく（100分）。

**テキスト、参考文献他** テキスト：動物介在教育指導者養成講座 基礎編（授業中に説明する）。動物介在活動教育療法必携テキスト（Gakken）

**授業形態** 対面授業で行う。出席が不足した場合には、定期試験を受ける資格が失効する。その場合、次年度に単位を取得すること。欠席カードを提出しても、公的な欠席以外は、欠席扱いとする。配慮申請者や公的な欠席者以外への、授業動画の公開は一切しない。

	種別	評価割合(%)	評価方法		
成績評価基準	定期試験	0	実施しない。		
	レポート試験	80	各單元あるいはテーマごとに小テスト、レポートの提出を求める。		
	平常点評価	20	遅延・未提出などのレポート提出状況および小テストの参加状況により減点あり。		
	評価のフィードバック方法	評価結果は学習支援システムを通じて個別に通知。			
	再試験	実施しない。規定以上の欠席の場合は、レポート・小テストを提出していても、不可とする。			
	ルーブリック	4	3	2	1

成績評価基準 (ルーブリック)	授業参加状況	積極的に授業に参加する姿勢がうかがえる。	積極性がやや劣る。	授業の参加状況がよいもの。	授業の参加状況が著しく悪い。
	レポート (本文)	授業内容を的確にまとめ、かつ自身で調べた内容まで記載がある。	授業内容を的確にまとめている。	授業内容の理解が不十分かつ内容が乏しい。	理解が不十分かつ内容が乏しい。
	レポート (引用)	適切な引用図書・文献とその出典の明記	引用図書・文献の明記はあるが、適切性はやや劣るもの。	引用したものはあるが、その出典がない。	引用図書・文献が無い。
	小テスト	小テスト全てに解答し、正しい解答がなされている。	小テスト全てに解答しているが、間違いが多少ある。	小テストへの解答が2/3程度である。	小テストへの解答が半分以下である。

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/14(月)	3時限	生野 佐織	B314	講義
	タイトル	動物介在介入概論			
2.	2025/04/21(月)	3時限	的場 美芳子	B314	講義
	タイトル	動物介在教育 (AAE) の基礎知識と事例紹介			
3.	2025/04/28(月)	3時限	的場 美芳子	B314	講義
	タイトル	動物介在活動 (AAA) の基礎知識と事例紹介			
4.	2025/05/12(月)	3時限	的場 美芳子	B314	講義
	タイトル	動物介在療法 (AAT) の基礎知識と事例紹介			
5.	2025/05/19(月)	3時限	的場 美芳子	B314	講義
	タイトル	介在動物 (セラピードッグ・教育支援犬) の適性評価とトレーニング			
6.	2025/05/26(月)	3時限	生野 佐織	B314	講義
	タイトル	学校飼育動物			
7.	2025/06/02(月)	3時限	土田 あさみ	B314	講義
	タイトル	動物介在介入に活用されると想定される動物にかかわる法規			
8.	2025/06/09(月)	3時限	土田 あさみ	B314	講義
	タイトル	動物介在介入に活用されると想定される動物にかかわる法規			
9.	2025/06/16(月)	3時限	土田 あさみ	B314	講義
	タイトル	日常飼育および衛生管理			
10.	2025/06/23(月)	3時限	小林 真理子	B314	講義
	タイトル	大動物を使用した動物介在介入とその問題点			
11.	2025/06/30(月)	3時限	生野 佐織	B314	講義
	タイトル	動物介在介入の基礎①			

	授業内容	訪問する施設の評価（サイトアセスメント）と訪問前にやること。			
	2025/07/07(月)	3 時限	小林 眞理子	B314	講義
12.	タイトル	動物介在介入の心理的効果			
	授業内容	不登校児童を対象とした活動を例にとり、乗馬や馬とかかわることの心理的・社会的効用に関して解説する。			
	2025/07/14(月)	3 時限	生野 佐織	B314	講義
13.	タイトル	動物介在介入の基礎②			
	授業内容	活動に向く動物種、不向きな動物種、活動する動物の適性とその評価について理解する。			
	2025/07/23(水)	3 時限	的場 美芳子	B314	講義
14.	タイトル	動物介在サービス（AAS）における愛玩動物看護師の役割			
	授業内容	AASを実施するにあたり必要となる手続きや各種書類の作成や、ボランティアおよびハンドラーの育成について具体例を示しながら解説する。			

その他	<p>※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。</p> <p>※本科目を担当する教員は、本学動物医療センターの獣医師等であり、実務経験をもとに授業を行う。</p>
-----	---

科目No	214103000
ナンバリングコード	Z1FA0301
科目名	農業経営経済原論
学科	動物科学科
科目区分	必修
授業区分	講義
単位数	2
学年	1
担当教員	小澤 壮行 植木 美希

授業のねらい	本講義では私たちが社会生活を送るなかで、その基盤となっている社会を考察し、「食・農・動物」のエキスパートとなるべくして本学科に入学した学生への「道しるべ」となるための、基礎的知識を賦与することを目的とする。
到達目標	動物科学科、社会科学系の導入科目として、広く食料・農業・環境を取り巻く問題への理解を醸成する。
事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能	食料や農業、農村に関する事柄や広く社会問題に関心を持つこと。
履修上の留意点	積極的に関連する新聞記事・雑誌・書籍等の購読を行うこと。 図書館の電子書籍等活用しよう。
授業期間を通して出される課題	-
授業外学修の具体的な指示、時間の目安	予習（100分）・復習（100分）
テキスト、参考文献他	適宜資料を学修支援システムで配布する。 必要に応じてポータルで連絡する。
授業形態	対面授業

成績評価基準	種別	評価割合(%)		評価方法
	定期試験	90	小澤・植木とも各々を50点、合計100点満点として評価する。	
レポート試験	0			
平常点評価	10	提出課題の評価によって加点する。		
評価のフィードバック方法	オフィスアワーからの問い合わせに対し、個別にフィードバックする。			
再試験	実施しない。			

  

成績評価基準	ルーブリック	4	3	2	1
	理解度	授業内容を越えた自主的な学修が認められる	授業内容をほぼ100%理解している	到達目標は理解しているが、授業内いることが認められる	到達目標に達して、授業内いることが認められる

準 (ループ リック)	課題解法能力	解法が分からない何も参照せずに独 他人にアドバイス自の能力で課題を ができる 解くことができる	にすれば、自分で 課題を解くことが できる	他人のアドバイス があれば課題を解 くことができる
	調査能力 (予習)	自ら進んで予習範 囲を越えて調べて理解し、他人に説 明できる	予習範囲を十分に 指示した予習範囲 指示された範囲は 理解にあいま 予習するが、理解 な点がある が不十分である	

## 概要・スケジュール

回数	年月日	時限	担当者	教室	授業形式
1.	2025/04/15(火)	2 時限	小澤 壮行	B512	講義
	タイトル				
	授業内容	第 1 回 ガイダンス 履修するにあたっての心構え、諸注意			
2.	2025/04/22(火)	2 時限	小澤 壮行	B512	講義
	タイトル				
	授業内容	第 2 回 農業経営学と農業経済学 農業経営学と農業経済学。たった漢字一文字の違いであるが、ここには大きな差異が生じている。それぞれの学問範疇とは何か。特に農業経営学という学問体系とは何かを学ぶ。			
3.	2025/05/02(金)	2 時限	小澤 壮行	B512	講義
	タイトル				
	授業内容	第 3 回 日本の風土と農業 小さな島国と揶揄される日本国。果たして本当に「小さい国」なのか。そこで生産される農産物には他国には無い「農法」によって成立している。その独自の「農法」について概括する。			
4.	2025/05/13(火)	2 時限	小澤 壮行	B512	講義
	タイトル				
	授業内容	第 4 回 農業構造の変化とは何か 脆弱化していると言われる日本の農業経営構造について統計資料によって明らかにし、この理解を図る。			
5.	2025/05/20(火)	2 時限	小澤 壮行	B512	講義
	タイトル				
	授業内容	第 5 回 21世紀における 3 つの新しい視点 現世紀では農業経営に新風が吹いている。それらは「高付加価値化」, 「低コスト化」および「環境形成」である。これらは何なのかを概説する。			
6.	2025/05/27(火)	2 時限	小澤 壮行	B512	講義
	タイトル				
	授業内容	第 6 回 第 7 回 経営者機能と日本農業 農業経営を担う経営者機能とは何なのかを学ぶ。			
7.	2025/06/03(火)	2 時限	小澤 壮行	B512	講義
	タイトル	まとめ			
	授業内容	小澤担当箇所のとまとめと評価について述べる			
8.	2025/06/10(火)	2 時限	植木 美希	B512	講義
	タイトル	農業経済原論とは何か。			
	授業内容	経済学は農業経済から始まっている。農業とは何か、農業の価値について考える。さらに経済発展と農業の関係についても考えよう。			
9.	2025/06/17(火)	2 時限	植木 美希	B512	講義
	タイトル	グローバル化する世界と日本の農業			
	授業内容	日本経済における農業の位置づけを考える。農業の生産基盤も大きく変化している。農業生産の基礎について学び、その変化を見よう。			
10.	2025/06/24(火)	2 時限	植木 美希	B512	講義
	タイトル	グローバル化する世界と日本の食料フードシステム			
	授業内容	グローバル化する世界とともに私たちの食を取り巻く現状が大きく変わってきてる。日本の食料フードシステム、中でも流通に注目する。			
11.	2025/07/01(火)	2 時限	植木 美希	B512	講義
	タイトル	グローバル化する世界と日本の消費者			
	授業内容	グローバル化する世界で日本の食料消費のあり方も変化している。食料自給率や食料消費の変化から学ぼう。消費者の購買行動は農業生産にも多大な影響を与える。その事実について考えよう。			

	2025/07/08(火) 2 時限	植木 美希	B512	講義
12.	タイトル	持続可能な農畜産業について考える（1）		
	授業内容	世界の先進国の農業の目指すべき方向が集約的農業から転換しようとしている。有機農畜産業や、アニマルウェルフェアに配慮した畜産である。世界の新しい動向について学び、考えよう。		
	2025/07/15(火) 2 時限	植木 美希	B512	講義
13.	タイトル	世界の農業政策		
	授業内容	グローバル化する世界では、各国の農業政策のあり方も相互に関係してくる。そこで主要国と日本の農業政策について比較する。		
	2025/07/22(火) 2 時限	植木 美希	B512	講義
14.	タイトル	まとめ		
	授業内容	より良い農業生産と持続可能な社会のあり方を考え、本講義、植木担当分のまとめとする。		

その他 ※100分の授業に対して、講義科目は200分、演習科目は50分の授業外学修時間が必要である。

科目No 214107000  
 ナンバリングコード Z1FA0701  
 科目名 基礎生化学  
 学科 動物科学科  
 科目区分 必修  
 授業区分 講義  
 単位数 2  
 学年 1  
 担当教員 太田 能之

**授業のねらい** 各栄養素の定義とその特徴、物質代謝とエネルギー代謝の概念を理解する。さらに、代謝のメカニズムを理解する。そしてそれらがどのように制御されるかを栄養素レベルで解説するまでを本講義では行う。

**到達目標** 動物の体の中で起きている現象を化学的に捉えられるようになる

**事前履修科目・履修に必要な予備知識や技能** 化学（特に原子や結合）

**履修上の留意点** -

**授業期間を通して出される課題** -

**授業外学修の具体的な指示、時間の目安** 基礎的な化学の予習が望ましい。（20分）

**テキスト、参考文献他** -

**授業形態** 講義

	種別	評価割合(%)	評価方法
成績評価基準	定期試験	100	出席数定足が受験資格
	レポート試験	0	なし
	平常点評価	0	ただし定期試験受験資格に関わる
	評価のフィードバック方法	オフィスアワーからの問い合わせに対し、個別にフィードバックする	
	再試験	実施しない	

	ループリック	4	3	2	1
成績評価基準（ループリック）	理解度	授業内容を越えた自主的な学修が認められる	授業内容をほぼ100%理解している	到達目標は理解しているが、授業内容に不足がある	到達目標に達していることが認められる
	課題解法能力	解法が分からない他人にアドバイスを求めることができる	何も参照せずに独自の力で課題を解くことができる	参考書などを参考にすれば、独自で課題を解くことができる	他人のアドバイスがあれば課題を解くことができる

